

まちづくりに関する市民アンケート調査報告書

2018年9月

木更津市

目次

1 アンケート調査の概要	1
2 アンケート調査結果.....	3
3 結果概要・考察	38

1 アンケート調査の概要

◆ 調査の目的

「木更津市総合計画第2次基本計画」の策定に向け、木更津市のイメージや既存の施策に対する満足度、今後の優先度等に関する市民意見について収集・分析を行い、今後の市政に反映することを目的とした。

◆ 調査の概要

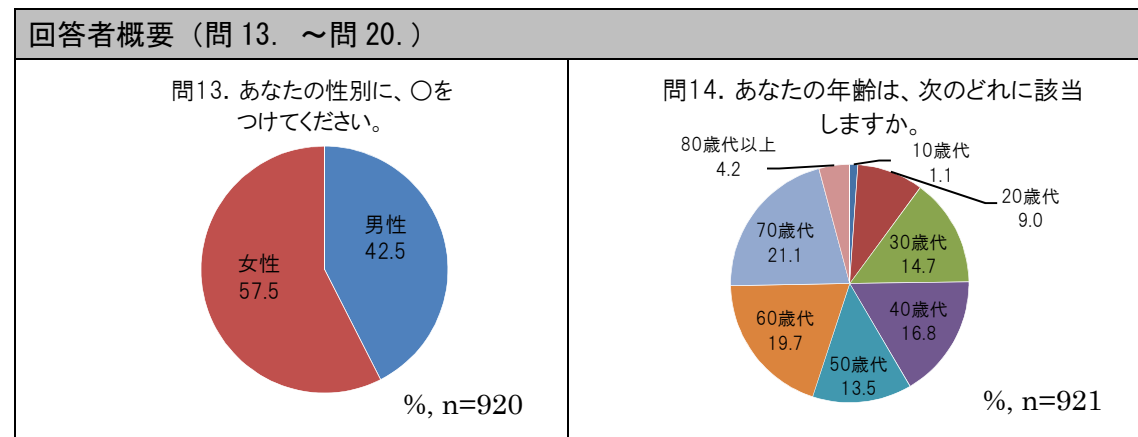
調査対象	木更津市内に常在する18歳以上の男女
抽出方法	住民基本台帳より、該当する住民を無作為抽出
配布数	2,000件（うち戻り8件，有効配布数1,992件）
回収数	944件（うち白票0件,有効回収数944件）
有効回収率	47.4%
調査方法	郵送による配布・回収
調査票回収期間	2018年6月8日（金）～2018年7月6日（金）
調査委託先	株式会社日本経済研究所

【本報告書での記載方法について】

- ・ 本報告書では、集計結果の数値を、特に断りのないかぎり、小数点以下第 2 位で四捨五入している。そのため、各回答の合計が 100%に一致しないことがある。
- ・ 複数回答の設問については、回答比率の合計は、100%を超える。
- ・ 各設問を集計した回答数の値（n 値）については、「n = ●」という記載方法でグラフ・表に示している。
- ・ 各設問の基本集計にあたっては、無回答若しくは回答内容が把握できないものについては、集計対象から除外している。
- ・ 各設問のクロス集計¹にあたっては、無回答若しくは回答内容が把握できないものについては、集計対象から除外している。また、集計によってはサンプル数が極端に少ない項目が発生しており、結果の解釈には注意が必要である。

¹ クロス集計とは、2つ以上の質問項目を掛け合わせた集計方法を指し、主に属性によるアンケート結果の違いなどを把握するために実施される。また、本報告書中の「×」は記号前後の質問項目の組み合わせによる「クロス集計」を示している。

2 アンケート調査結果



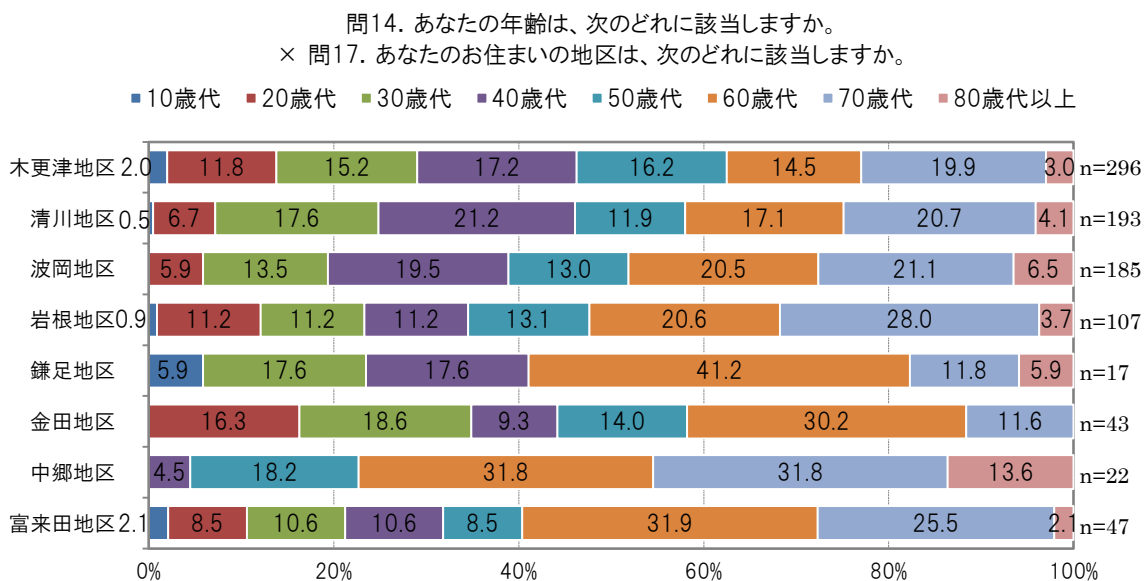
問 13. 性別

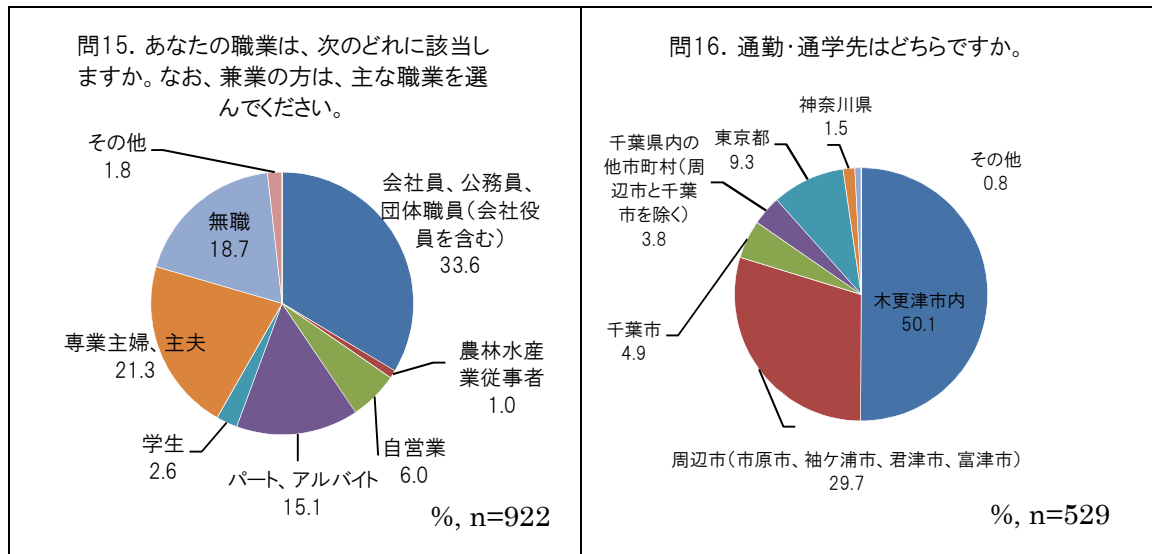
- ・ 回答者は女性が 15%多く、2015 年国勢調査に基づく人口構成比（男性：女性=50.3：49.7）と比較した場合、女性の回答者が多い状況となっている。

問 14. 年齢

- ・ 70 歳代が最も多く、全体の約 2 割（21.1%）を占めている。次いで 60 歳代（19.7%）、40 歳代（16.8%）、50 歳代（13.5%）となっている。
- ・ 2015 年国勢調査に基づく人口構成比（18～19 歳：20 歳代：30 歳代：40 歳代：50 歳代：60 歳代：70 歳代：80 歳代以上 =2：11：15：18：14：18：14：8）と概ね一致する結果となっている。

【参考】居住地区別の年齢構成（問 14. 年齢×問 17. 居住地区）



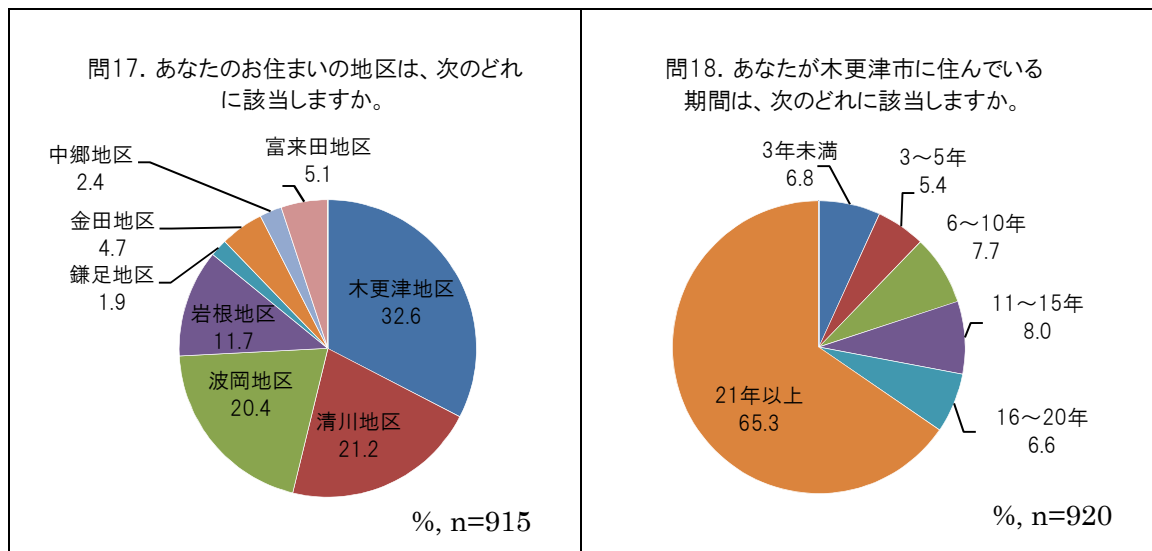


問 15. 職業

- ・ 回答者の職業は、会社員、公務員、団体職員（会社役員含む）が全体の 33.6%と最も多く、農林水産業従事者や自営業、パート、アルバイトを含めると、何らかの仕事に就いている回答者が、全体の半数以上（55.7%）を占めている。

問 16. 通勤・通学先

- ・ 回答者全体のおよそ半数が木更津市内に通勤・通学しており、2015年国勢調査に基づく自市内就業率（56.3%）とおおむね一致する結果となっている。



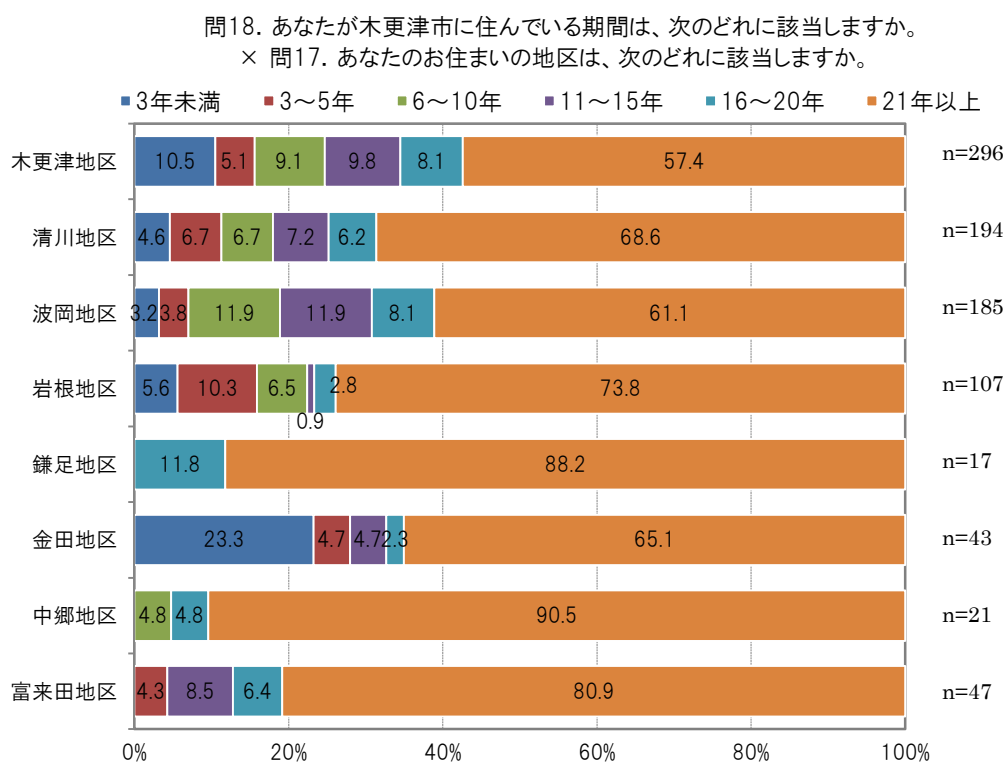
問 17. 居住地区

- ・ 回答者の居住地区として最も多かったのは木更津市で、全体の 32.6%を占めている。
- ・ 2018年4月1日の住民基本台帳結果に基づく人口構成比（木更津地区：清川地区：波岡地区：岩根地区：鎌足地区：金田地区：中郷地区：富来田地区 = 32.5 : 21.1 : 21.1 : 12.7 : 1.7 : 4.2 : 2.1 : 4.5）とおおむね一致する結果となっている。

問 18. 居住期間

- ・ 木更津市に 21 年以上居住している回答者が最も多く、全体の 6 割以上（65.3%）を占めている。
- ・ 居住期間が 10 年以下の回答者割合は 19.9%と、短期居住者の全体に占める割合は低くなっている。

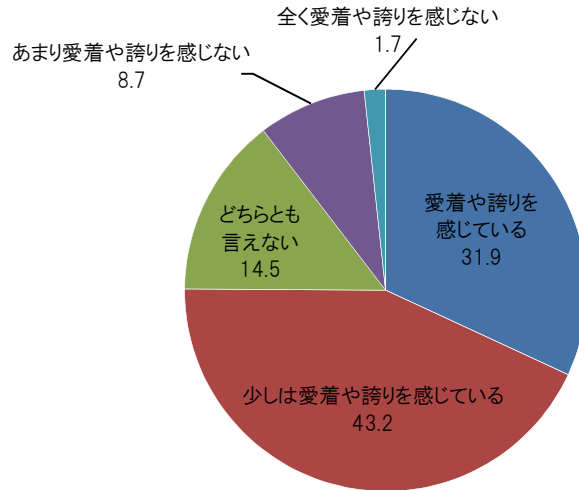
【参考】居住地区別の居住期間（年齢×居住地区）



I. 「木更津市へのイメージについて」

問1. (単回答) あなたは、木更津市に愛着や誇りを感じていますか。

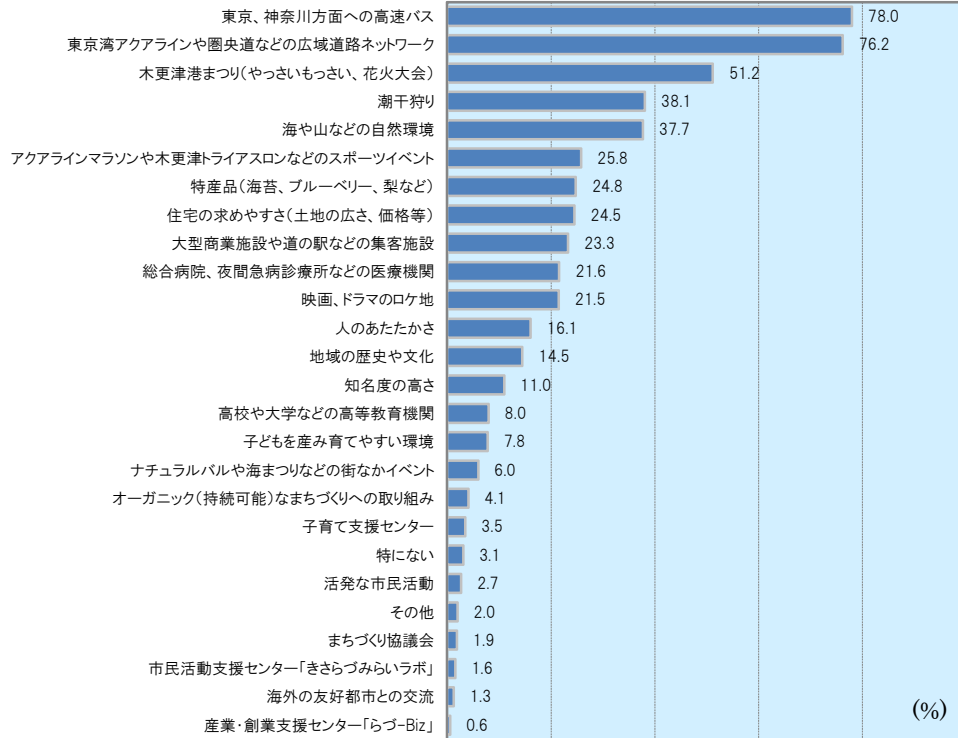
問1. あなたは、木更津市に愛着や誇りを感じていますか。



%, n=933

問2. (複数回答) あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。

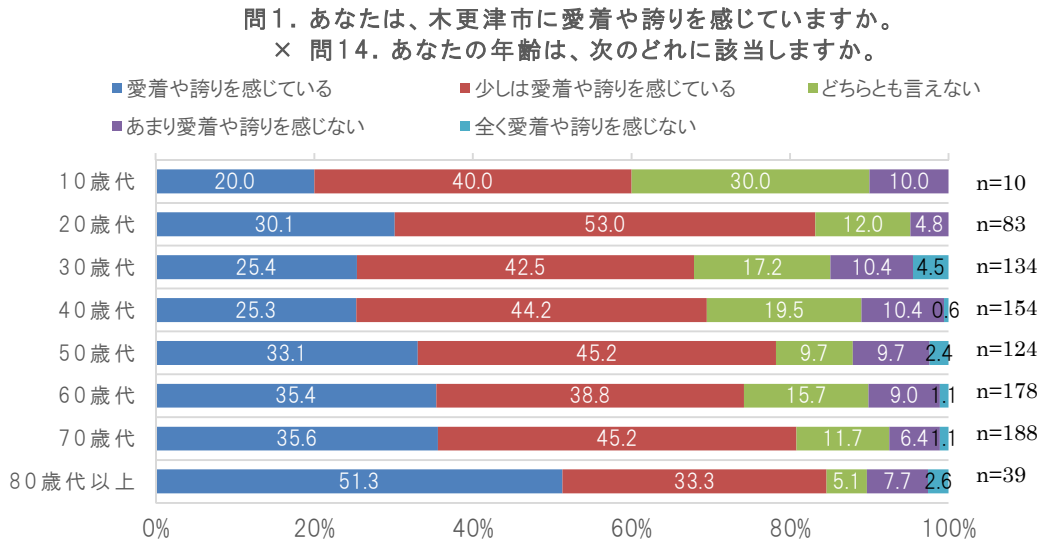
問2. あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。



n=938

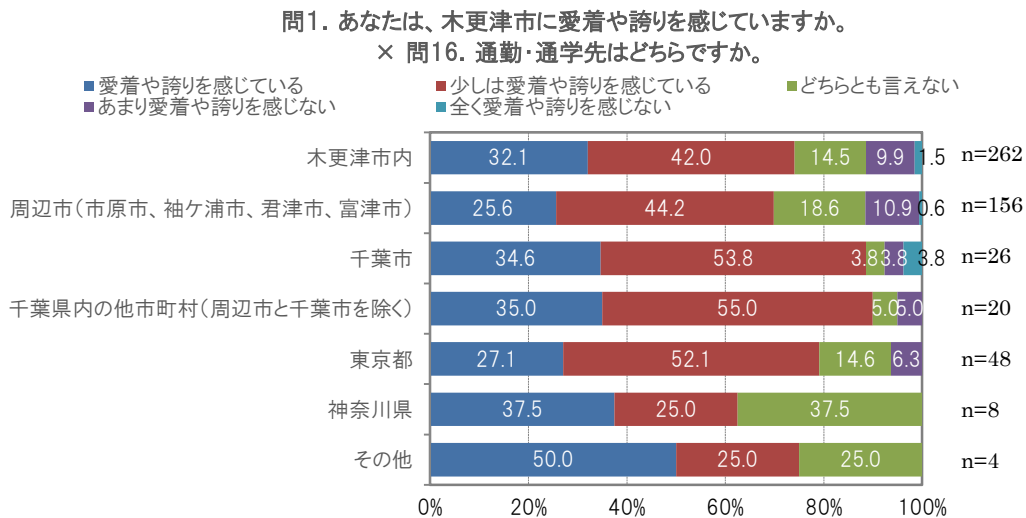
- ・ 木更津市に「愛着や誇りを感じている」(31.9%)、「少しは愛着や誇りを感じている」(43.2%) 回答者は、全体の 75.1%を占めている。
- ・ 木更津市の魅力としては、「東京、神奈川方面への高速バス」、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」の道路交通ネットワークの充実性に関する項目について、特に多く挙げられている。次いで、「木更津港まつり」や「潮干狩り」、「海や山などの自然環境」をはじめとする観光資源に係る項目が挙げられている。

<年齢別の動向>



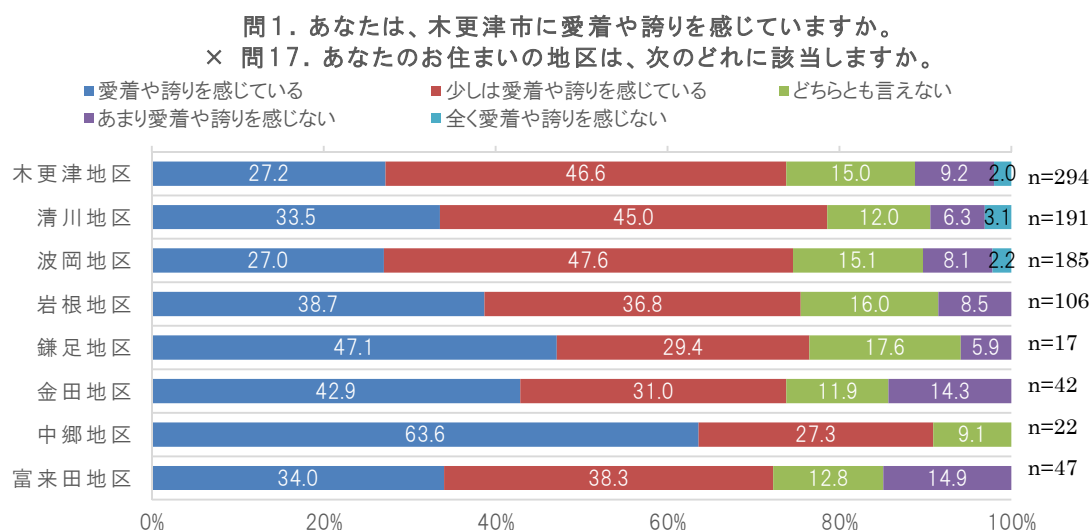
- ・ 全体の動向と年齢別の動向を比較した場合、80歳代以上、20歳代、70歳代、50歳代、60歳代の順に、「愛着や誇りを感じている」若しくは「少しは愛着や誇りを感じている」を選んだ回答者の割合が高くなっている。

<通勤・通学先別の動向>



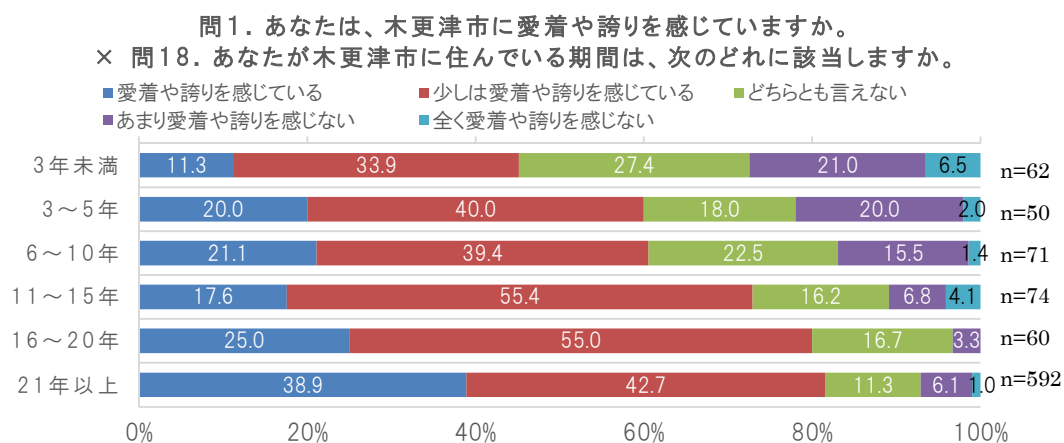
- 通勤・通学先別の愛着度の状況としては、千葉県内の他市町村（周辺市と千葉市を除く）、千葉市、東京都、木更津市内、周辺市（市原市、袖ヶ浦市、君津市、富津市）の順に、「愛着や誇りを感じている」若しくは「少しは愛着や誇りを感じている」人の割合が高くなっていることが分かる。

<居住地区別の動向>



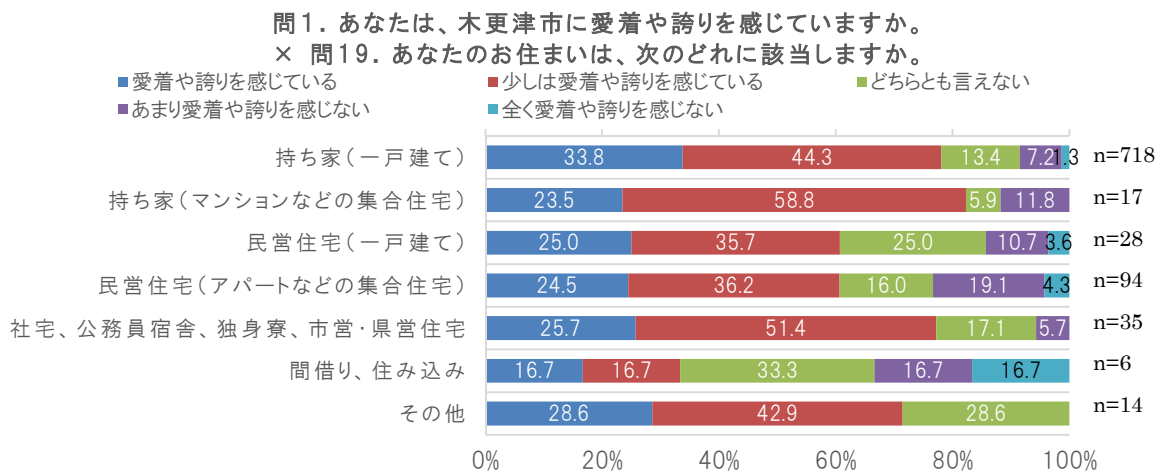
- 「愛着や誇りを感じている」「少しは愛着や誇りを感じている」の回答割合は、中郷地区で最も高くなっている。

<居住期間別の動向>



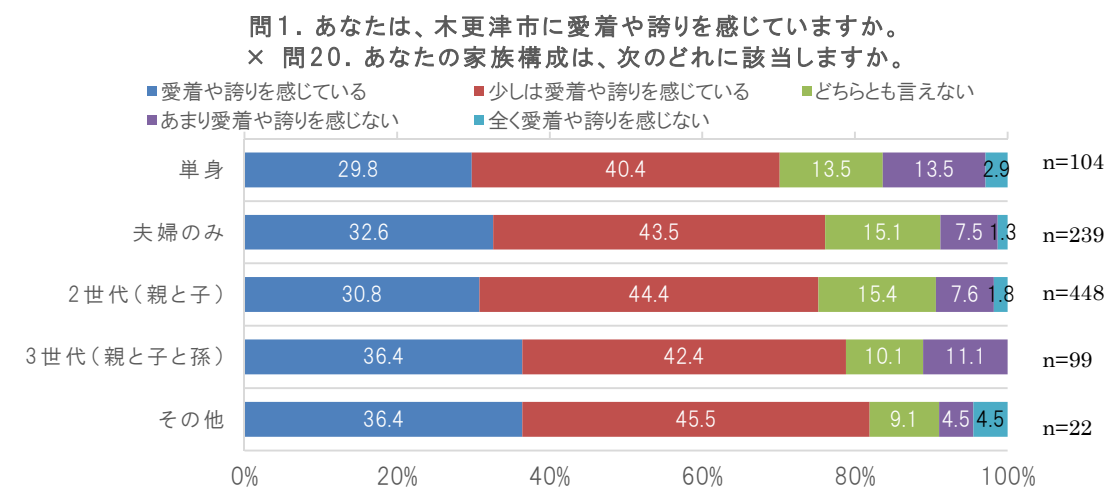
- 居住期間が長い程、「愛着や誇りを感じている」若しくは「少しは愛着や誇りを感じている」の回答割合が高くなっており、回答者の居住期間と愛着度は正比例の関係にあると考えられる。

<居住形態別の動向>



- ・ 居住形態別では持ち家（一戸建て・マンションなどの集合住宅）の回答者は、「愛着や誇りを感じている」若しくは「少しは愛着や誇りを感じている」人の割合が高くなる傾向にある。

<家族構成別の動向>



- ・ 家族構成別では、3世代（親と子と孫）世帯で最も「愛着や誇りを感じている」若しくは「少しは愛着や誇りを感じている」の回答割合が高くなっている（その他の家族構成を除く）。
- ・ 一方で、「あまり愛着や誇りを感じない」、「全く愛着や誇りを感じない」割合は、単身世帯で最も高くなっている（その他の家族構成を除く）。

<愛着や誇りの有無による動向>

問2. あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。 × 問1. あなたは、木更津市に愛着や誇りを感じていますか。

■ 平均値+1標準偏差以上 ■ 平均値以下

上段:度数 下段:%	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	まちづくり協議会	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境	活発な市民活動	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み
全体	931 100.0	711 76.4	726 78.0	228 24.5	218 23.4	203 21.8	33 3.5	18 1.9	56 6.0	133 14.3	351 37.7	151 16.2	73 7.8	25 2.7	38 4.1
愛着や誇りを感じている	298 100.0	257 86.2	246 82.6	74 24.8	92 30.9	86 28.9	16 5.4	12 4.0	35 11.7	81 27.2	153 51.3	83 27.9	41 13.8	15 5.0	24 8.1
少しは愛着や誇りを感じている	403 100.0	323 80.1	323 80.1	112 27.8	101 25.1	87 21.6	15 3.7	5 1.2	15 3.7	38 9.4	154 38.2	57 14.1	26 6.5	7 1.7	12 3.0
どちらとも言えない	134 100.0	85 63.4	94 70.1	26 19.4	20 14.9	17 12.7	1 0.7	1 0.7	4 3.0	8 6.0	32 23.9	8 6.0	5 3.7	3 2.2	2 1.5
あまり愛着や誇りを感じない	81 100.0	41 50.6	56 69.1	15 18.5	5 6.2	11 13.6	1 1.2	-	2 2.5	6 7.4	10 12.3	2 2.5	1 1.2	-	-
全く愛着や誇りを感じない	15 100.0	5 33.3	7 46.7	1 6.7	-	2 13.3	-	-	-	-	2 13.3	1 6.7	-	-	-

上段:度数 下段:%	市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らづBiz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマリンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント	木更津まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	海外の友好都市との交流	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にない	その他	標準偏差	平均値
全体	15 1.6	6 0.6	75 8.1	240 25.8	477 51.2	354 38.0	229 24.6	12 1.3	102 11.0	201 21.6	29 3.1	19 2.0	21.5	19.5
愛着や誇りを感じている	11 3.7	5 1.7	45 15.1	109 36.6	194 65.1	141 47.3	106 35.6	7 2.3	55 18.5	78 26.2	-	11 3.7	24.3	25.5
少しは愛着や誇りを感じている	2 0.5	1 0.2	25 6.2	102 25.3	211 52.4	155 38.5	98 24.3	3 0.7	38 9.4	90 22.3	2 0.5	5 1.2	22.7	19.1
どちらとも言えない	2 1.5	-	4 3.0	21 15.7	49 36.6	40 29.9	19 14.2	2 1.5	7 5.2	21 15.7	14 10.4	2 1.5	18.1	14.0
あまり愛着や誇りを感じない	-	-	-	7 8.6	20 24.7	16 19.8	6 7.4	-	2 2.5	11 13.6	8 9.9	1 1.2	16.2	10.5
全く愛着や誇りを感じない	-	-	1 6.7	1 6.7	3 20.0	2 13.3	-	-	-	1 6.7	5 33.3	-	12.4	8.0

- 問1 とのクロス分析によると、愛着や誇りの有無にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」を魅力と感じる市民の割合は、顕著に高くなっている。
- 「木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)」については、愛着や誇りを感じていない市民が魅力を感じにくい傾向にあるとうかがわれる。

<定住意向の有無による動向>

問2. あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。 × 問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。

■ 平均値+1標準偏差以上 ■ 平均値以下

上段:度数 下段:%	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境	活発な市民活動
全体	915 100.0	699 76.4	715 78.1	221 24.2	213 23.3	196 21.4	33 3.6	228 24.9	54 5.9	133 14.5	344 37.6	147 16.1	70 7.7	24 2.6
ずっと住み続けたい	341 100.0	278 81.5	271 79.5	86 25.2	97 28.4	102 29.9	18 5.3	122 35.8	29 8.5	76 22.3	156 45.7	92 27.0	39 11.4	16 4.7
できれば住み続けたい	350 100.0	280 80.0	288 82.3	93 26.6	82 23.4	69 19.7	13 3.7	78 22.3	20 5.7	47 13.4	137 39.1	43 12.3	26 7.4	7 2.0
できれば転出したい	66 100.0	37 56.1	45 68.2	13 19.7	8 12.1	9 13.6	-	12 18.2	1 1.5	1 1.5	14 21.2	2 3.0	2 3.0	-
転出するつもり	34 100.0	26 76.5	28 82.4	11 32.4	7 20.6	4 11.8	1 2.9	6 17.6	2 5.9	4 11.8	10 29.4	3 8.8	1 2.9	-
わからない	124 100.0	78 62.9	83 66.9	18 14.5	19 15.3	12 9.7	1 0.8	10 8.1	2 1.6	5 4.0	27 21.8	7 5.6	2 1.6	1 0.8

上段:度数 下段:%	まちづくり協議会	市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らぶ-Biz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント	木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み	海外の友好都市との交流	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にな	その他	標準偏差	平均値
全体	18 2.0	15 1.6	6 0.7	72 7.9	237 25.9	469 51.3	349 38.1	36 3.9	12 1.3	102 11.1	197 21.5	29 3.2	18 2.0	21.6	19.5
ずっと住み続けたい	14 4.1	11 3.2	3 0.9	40 11.7	117 34.3	218 63.9	155 45.5	18 5.3	8 2.3	45 13.2	79 23.2	3 0.9	13 3.8	23.4	23.8
できれば住み続けたい	4 1.1	2 0.6	3 0.9	26 7.4	97 27.7	184 52.6	136 38.9	12 3.4	3 0.9	39 11.1	77 22.0	6 1.7	3 0.9	22.9	19.5
できれば転出したい	-	-	-	1 1.5	9 13.6	21 31.8	19 28.8	1 1.5	-	2 3.0	7 10.6	7 10.6	2 3.0	17.4	12.4
転出するつもり	-	-	-	-	2 5.9	7 20.6	7 20.6	2 5.9	-	3 8.8	6 17.6	2 5.9	-	21.2	14.9
わからない	-	2 1.6	-	5 4.0	12 9.7	39 31.5	32 25.8	3 2.4	1 0.8	13 10.5	28 22.6	11 8.9	-	17.7	12.7

- ・ 問3とのクロス分析によると、定住意向の有無にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」を魅力と感じる市民の割合は顕著に高くなっている。
- ・ 「アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント」や「木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)」を魅力と感じる市民の割合は、定住意向の有無によって反応を二分する結果となっている。

<年齢別の動向>

問2. あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。 × 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。

■ 平均値+1標準偏差以上 ■ 平均値以下

上段:度数 下段:%	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	まちづくり協議会	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境	活発な市民活動	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み
全体	915 100.0	697 76.2	713 77.9	225 24.6	210 23.0	195 21.3	32 3.5	16 1.7	54 5.9	132 14.4	344 37.6	146 16.0	73 8.0	24 2.6	38 4.2
10歳代	10 100.0	9 90.0	8 80.0	-	4 40.0	1 10.0	-	-	-	1 10.0	-	-	-	-	-
20歳代	83 100.0	61 73.5	60 72.3	21 25.3	13 15.7	10 12.0	2 2.4	-	4 4.8	7 8.4	23 27.7	9 10.8	5 6.0	1 1.2	3 3.6
30歳代	133 100.0	95 71.4	95 71.4	27 20.3	23 17.3	17 12.8	7 5.3	-	5 3.8	8 6.0	41 30.8	14 10.5	9 6.8	1 0.8	3 2.3
40歳代	155 100.0	119 76.8	109 70.3	46 29.7	37 23.9	19 12.3	7 4.5	1 0.6	12 7.7	15 9.7	54 34.8	18 11.6	16 10.3	3 1.9	3 1.9
50歳代	124 100.0	96 77.4	99 79.8	34 27.4	24 19.4	12 9.7	1 0.8	-	8 6.5	13 10.5	43 34.7	17 13.7	10 8.1	1 0.8	3 2.4
60歳代	180 100.0	147 81.7	150 83.3	36 20.0	46 25.6	41 22.8	4 2.2	3 1.7	9 5.0	38 21.1	75 41.7	20 11.1	8 4.4	4 2.2	7 3.9
70歳代	192 100.0	143 74.5	162 84.4	54 28.1	56 29.2	75 39.1	8 4.2	10 5.2	14 7.3	37 19.3	88 45.8	51 26.6	20 10.4	12 6.3	15 7.8
80歳代以上	38 100.0	27 71.1	30 78.9	7 18.4	7 18.4	20 52.6	3 7.9	2 5.3	2 5.3	13 34.2	20 52.6	17 44.7	5 13.2	2 5.3	4 10.5

上段:度数 下段:%	市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らづ Biz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント	木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	海外の友好都市との交流	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にない	その他	標準偏差	平均値
全体	15 1.6	6 0.7	71 7.8	232 25.4	465 50.8	343 37.5	224 24.5	10 1.1	100 10.9	199 21.7	28 3.1	19 2.1	21.5	19.4
10歳代	-	-	-	1 10.0	5 50.0	4 40.0	1 10.0	-	2 20.0	2 20.0	1 10.0	-	25.0	15.0
20歳代	1 1.2	-	2 2.4	17 20.5	47 56.6	30 36.1	11 13.3	-	5 6.0	23 27.7	1 1.2	1 1.2	21.5	16.5
30歳代	-	-	7 5.3	19 14.3	61 45.9	44 33.1	28 21.1	2 1.5	18 13.5	30 22.6	4 3.0	1 0.8	20.0	16.2
40歳代	1 0.6	-	11 7.1	36 23.2	81 52.3	56 36.1	32 20.6	-	16 10.3	55 35.5	4 2.6	3 1.9	21.4	18.7
50歳代	-	2 1.6	5 4.0	39 31.5	66 53.2	55 44.4	30 24.2	1 0.8	10 8.1	30 24.2	5 4.0	2 1.6	22.9	18.8
60歳代	4 2.2	1 0.6	19 10.6	38 21.1	84 46.7	68 37.8	42 23.3	3 1.7	14 7.8	23 12.8	5 2.8	5 2.8	22.8	19.1
70歳代	7 3.6	3 1.6	18 9.4	66 34.4	100 52.1	74 38.5	63 32.8	3 1.6	30 15.6	30 15.6	7 3.6	5 2.6	22.4	23.1
80歳代以上	2 5.3	-	9 23.7	16 42.1	21 55.3	12 31.6	17 44.7	1 2.6	5 13.2	6 15.8	1 2.6	2 5.3	23.0	25.4

- 問 14 とのクロス分析によると、年齢にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」を魅力と感じる市民の割合は顕著に高くなっている。
- 「映画、ドラマのロケ地」を魅力と感じる市民の割合は、10 歳代から 50 歳代は項目全体の平均値以上であるのに対し、60 歳代から 80 歳代以上は平均値以下となっており、若年層と高齢層で反応を二分する結果となっている。

<居住期間別の動向>

問2. あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。 × 問18. あなたが木更津市に住んでいる期間は、次のどれに該当しますか。

■ 平均値+1標準偏差以上 ■ 平均値以下

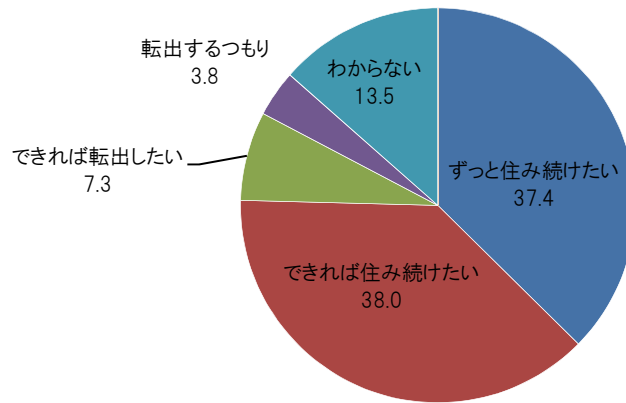
上段: 度数 下段: %	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	まちづくり協議会	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境	活発な市民活動	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み	海外の友好都市との交流
全体	914 100.0	699 76.5	714 78.1	224 24.5	209 22.9	196 21.4	32 3.5	16 1.8	54 5.9	133 14.6	344 37.6	145 15.9	73 8.0	24 2.6	38 4.2	10 1.1
3年未満	62 100.0	39 62.9	45 72.6	15 24.2	9 14.5	4 6.5	3 4.8	-	3 4.8	4 6.5	20 32.3	12 19.4	6 9.7	-	2 3.2	1 1.6
3~5年	50 100.0	36 72.0	35 70.0	14 28.0	5 10.0	12 24.0	1 2.0	-	2 4.0	5 10.0	16 32.0	3 6.0	1 2.0	-	4 8.0	-
6~10年	71 100.0	55 77.5	53 74.6	29 40.8	22 31.0	18 25.4	5 7.0	-	3 4.2	8 11.3	27 38.0	7 9.9	8 11.3	1 1.4	2 2.8	2 2.8
11~15年	74 100.0	58 78.4	57 77.0	29 39.2	15 20.3	8 10.8	3 4.1	1 1.4	5 6.8	7 9.5	33 44.6	10 13.5	6 8.1	2 2.7	3 4.1	-
16~20年	61 100.0	48 78.7	49 80.3	19 31.1	17 27.9	14 23.0	-	-	3 4.9	7 11.5	23 37.7	9 14.8	5 8.2	1 1.6	2 3.3	-
21年以上	596 100.0	463 77.7	475 79.7	118 19.8	141 23.7	140 23.5	20 3.4	15 2.5	38 6.4	102 17.1	225 37.8	104 17.4	47 7.9	20 3.4	25 4.2	7 1.2

上段: 度数 下段: %	市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らづBiz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント	木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にない	その他	標準偏差	平均値
全体	15 1.6	6 0.7	70 7.7	232 25.4	465 50.9	344 37.6	223 24.4	98 10.7	199 21.8	28 3.1	19 2.1	21.6	19.4
3年未満	-	-	1 1.6	6 9.7	22 35.5	11 17.7	8 12.9	4 6.5	8 12.9	4 6.5	-	18.6	14.1
3~5年	2 4.0	-	4 8.0	13 26.0	20 40.0	21 42.0	9 18.0	6 12.0	11 22.0	1 2.0	-	20.4	17.0
6~10年	2 2.8	-	6 8.5	18 25.4	34 47.9	22 31.0	15 21.1	4 5.6	10 14.1	1 1.4	1 1.4	21.8	19.1
11~15年	-	-	3 4.1	18 24.3	33 44.6	26 35.1	8 10.8	11 14.9	22 29.7	3 4.1	1 1.4	22.3	18.8
16~20年	-	-	4 6.6	16 26.2	35 57.4	26 42.6	20 32.8	9 14.8	18 29.5	1 1.6	-	23.5	20.6
21年以上	11 1.8	6 1.0	52 8.7	161 27.0	321 53.9	238 39.9	163 27.3	64 10.7	130 21.8	18 3.0	17 2.9	22.1	20.1

- ・ 問18とのクロス分析によると、居住期間にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」、「木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)」を魅力と感じる市民の割合は顕著に高くなっている。
- ・ 相対的に割合は高くはないが、居住期間が長くなるにつれて、「人のあたたかさ」に魅力を感じる市民の割合は上昇していることが分かる。

問3. (単回答) あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。

問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。

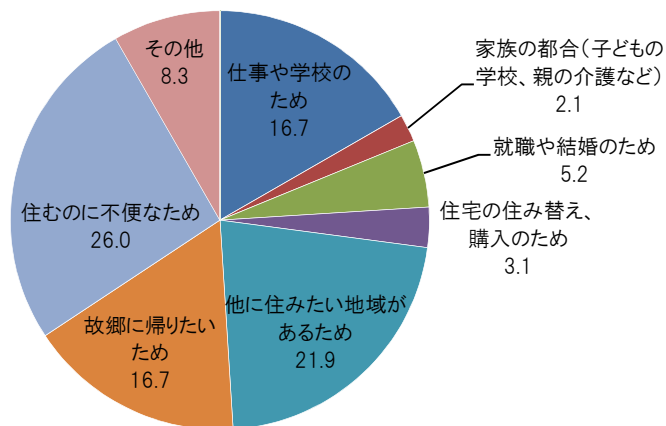


%, n=920

問4. 問3. で3・4を選択した回答者のみ

(単回答) 転出したい理由にもっとも近いのはどれですか。

問4. 転出したい理由にもっとも近いのはどれですか。

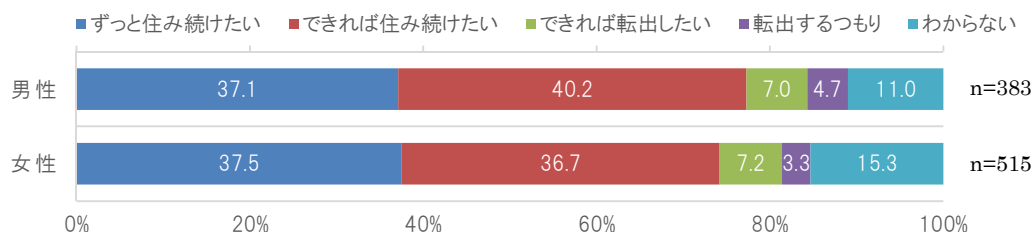


%, n=96

- ・ 「ずっと住みたい」、「できれば住みたい」の回答割合は、全体の 75.4%となっている。
- ・ 「できれば転出したい」、「転出するつもり」の回答割合は全体の約1割(11.1%)となっており、転出したい理由としては「住むのに不便なため」、「他に住みたい地域があるため」等が多く挙げられている。

<性別の動向>

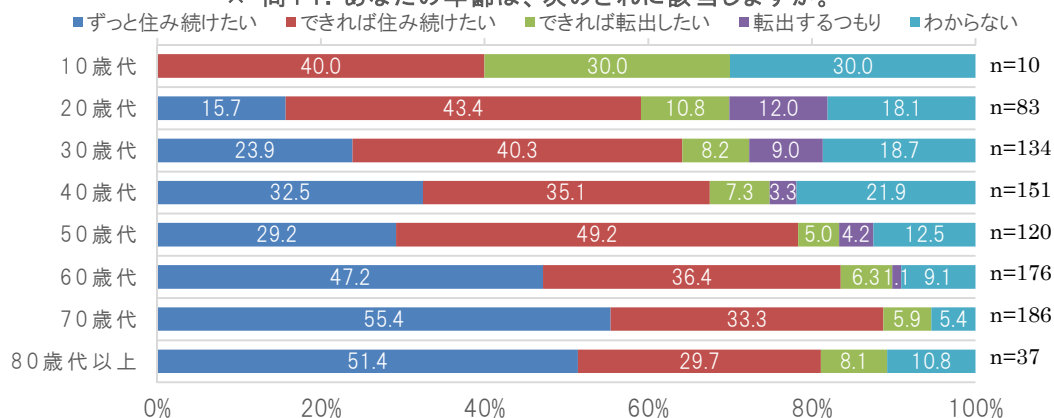
問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。
 × 問13. あなたの性別に、○をつけてください。



- ・ 今後の居住意向について、特に男女間の差は見受けられない。

<年齢別の動向>

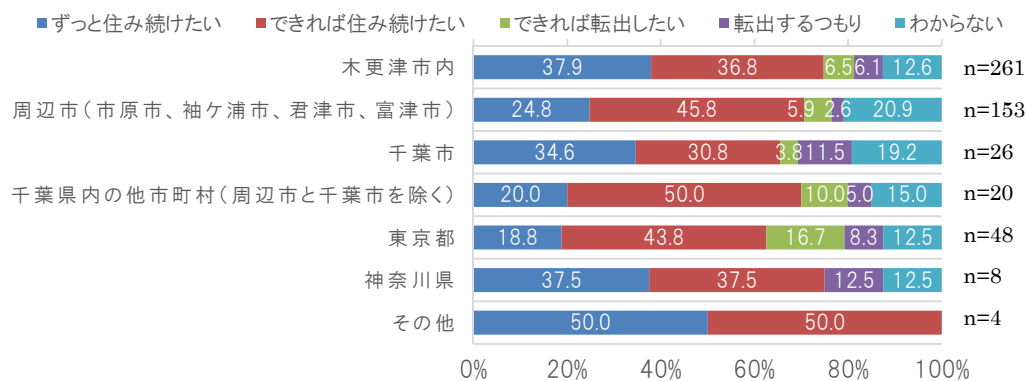
問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。
 × 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。



- ・ 「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と回答した割合の合計は、全世代で4割以上となっている。
- ・ 「できれば転出したい」「転出するつもり」の回答割合の合計は、若年層ほど高くなっている。

<通勤・通学先別の動向>

問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。
 × 問16. 通勤・通学先はどちらですか。

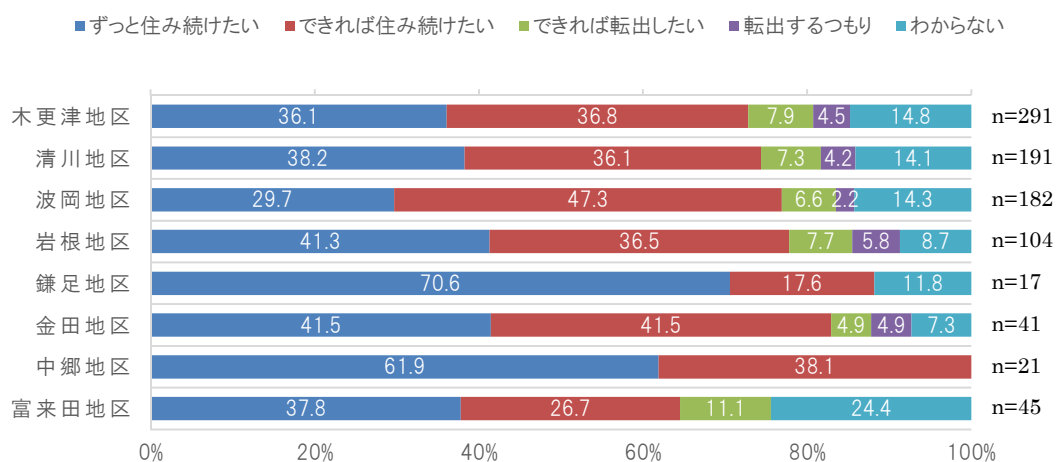


- 「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と回答した割合は、神奈川県内への通勤通学者が最も高く、次いで木更津市内への通勤通学者、周辺市（市原市、袖ヶ浦市、君津市、富津市）への通勤通学者の順に高くなっている（その他への通勤・通学者は除く）。

<居住地区別の動向>

問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。

× 問17. あなたのお住まいの地区は、次のどれに該当しますか。

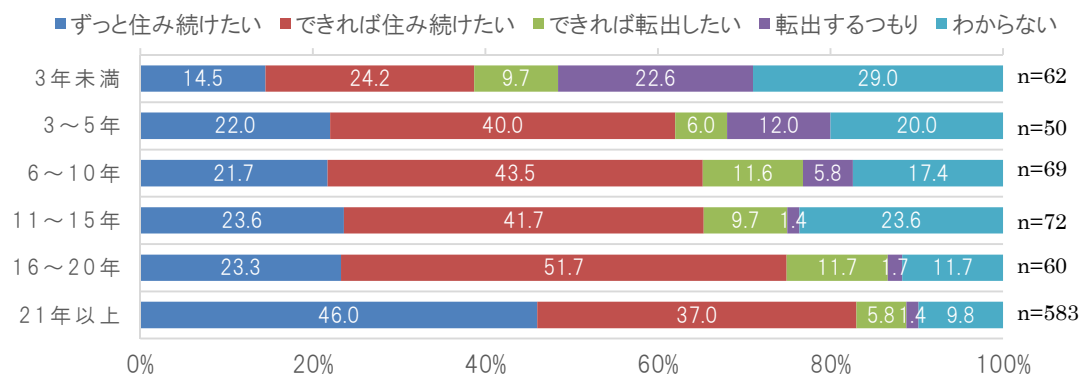


- 「ずっと住みたい」「できれば住みたい」を合計した回答割合は、中郷地区で最も高く、100%となっている。次いで鎌足地区、金田地区、岩根地区、波岡地区、清川地区、木更津地区と続き、富来田地区で最も低い割合となっている。

<居住期間別の動向>

問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。

× 問18. あなたが木更津市に住んでいる期間は、次のどれに該当しますか。

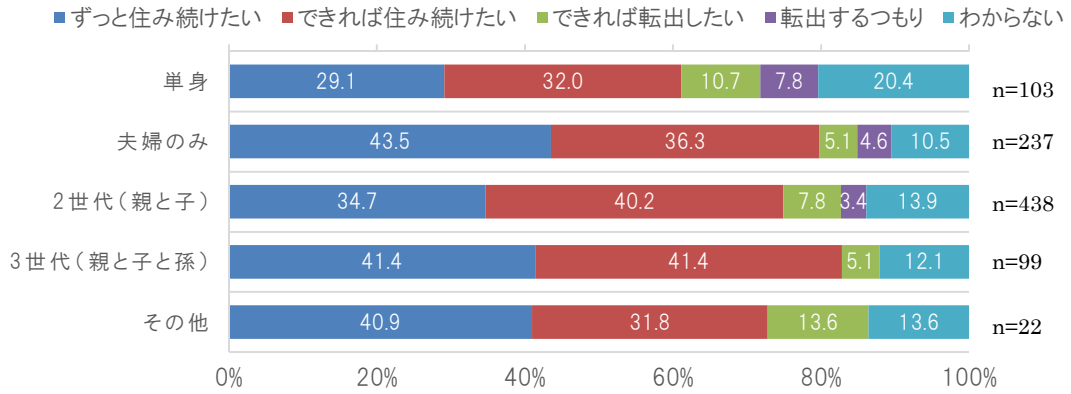


- 居住期間別の傾向としては、居住期間が長くなるほど「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と回答する割合が高くなっている。

<家族構成別の動向>

問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。

× 問20. あなたの家族構成は、次のどれに該当しますか。

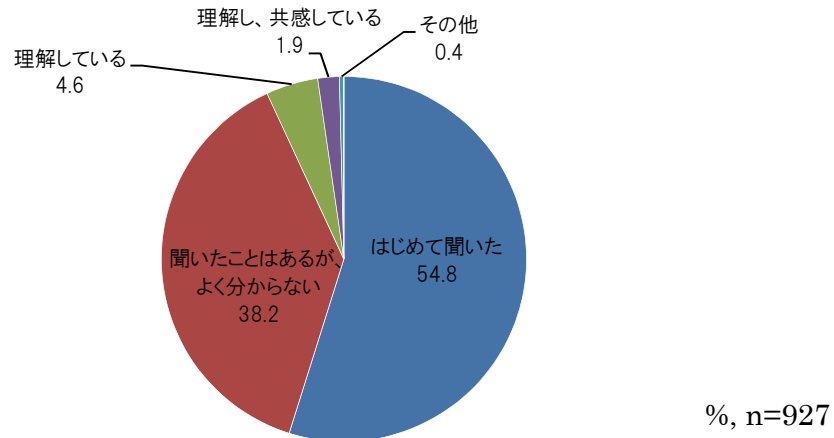


- 「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と回答した割合は、3世代（親と子と孫）世帯で最も高くなっている。

I. 「木更津市の取り組み」について

問5. (単回答) 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。

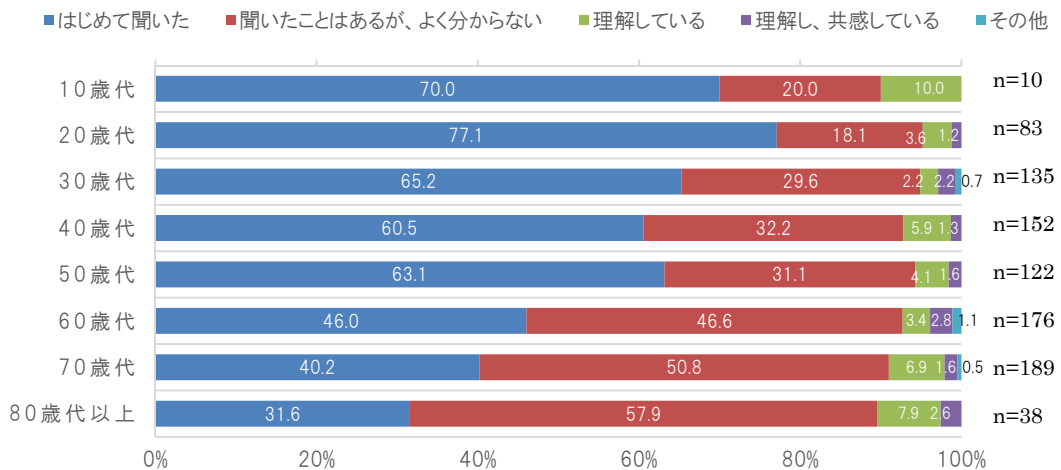
問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。



- ・ 「オーガニックなまちづくり」について「はじめて聞いた」市民の割合は、回答者全体の54.8%、「聞いたことはあるが、よく分からない」と回答した市民の割合は38.2%となっている。
- ・ 「理解している」、「理解し、共感している」と回答した市民は、回答者全体の6.5%に止まっている。

<年齢別の動向>

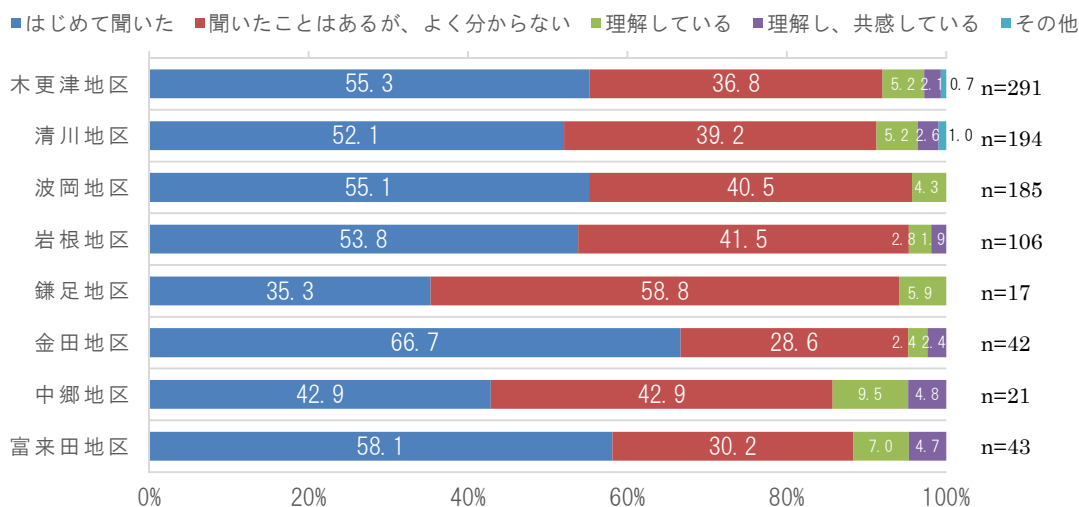
問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。
 × 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。



- ・ 年齢別の動向としては、20歳代を中心とした若年～中年世代に、「はじめて聞いた」市民の占める割合が高くなっている。
- ・ 60歳代以上の高齢世代では、「聞いたことはあるがよくわからない」市民の占める割合が高くなっている。

<居住地区別の動向>

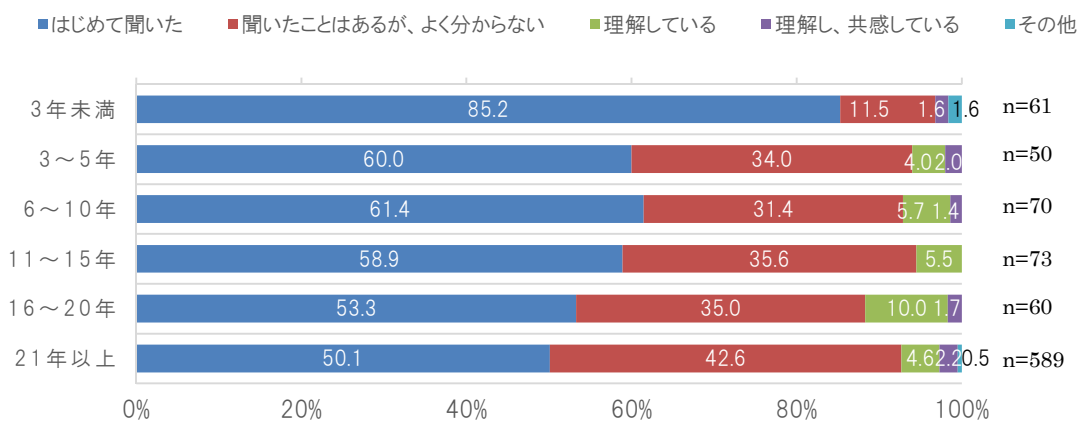
問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。
この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。
× 問17. あなたのお住まいの地区は、次のどれに該当しますか。



- ・ 「はじめて聞いた」と回答した市民の占める割合は、金田地域で最も高くなっており、「聞いたことはあるがよくわからない」と回答した市民の占める割合は、鎌足地域で最も高くなっている。

<居住期間別の動向>

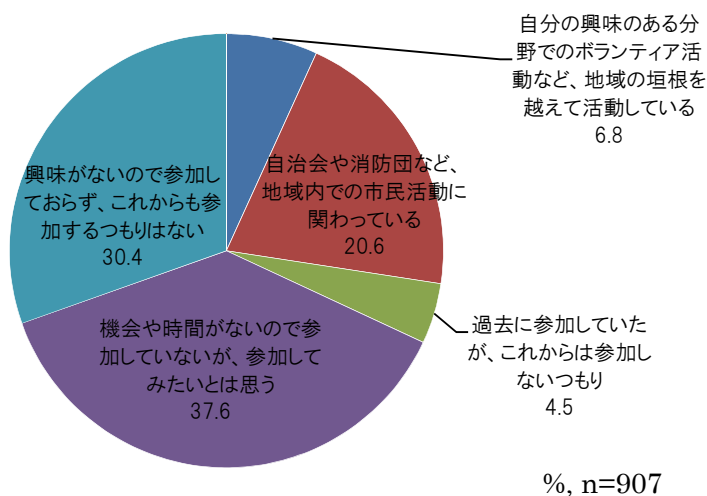
問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。
この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。
× 問18. あなたが木更津市に住んでいる期間は、次のどれに該当しますか。



- ・ 「はじめて聞いた」と回答した市民の占める割合は、居住期間が3年未満の回答者で最も高くなっており、「聞いたことはあるがよくわからない」と回答した市民の占める割合は、居住期間が21年以上の回答者で最も高くなっている。

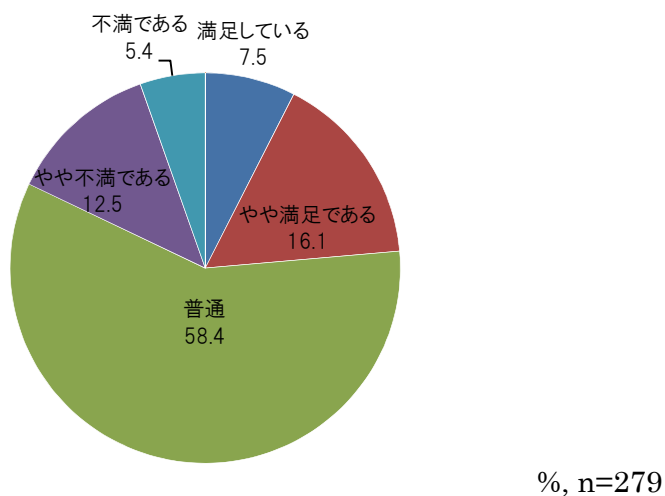
問6. (単回答) 現在、木更津市は、「市民活動(ボランティアやNPO活動など)」を推進しています。あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

問6. 現在、木更津市は、「市民活動(ボランティアやNPO活動など)」を推進しています。あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

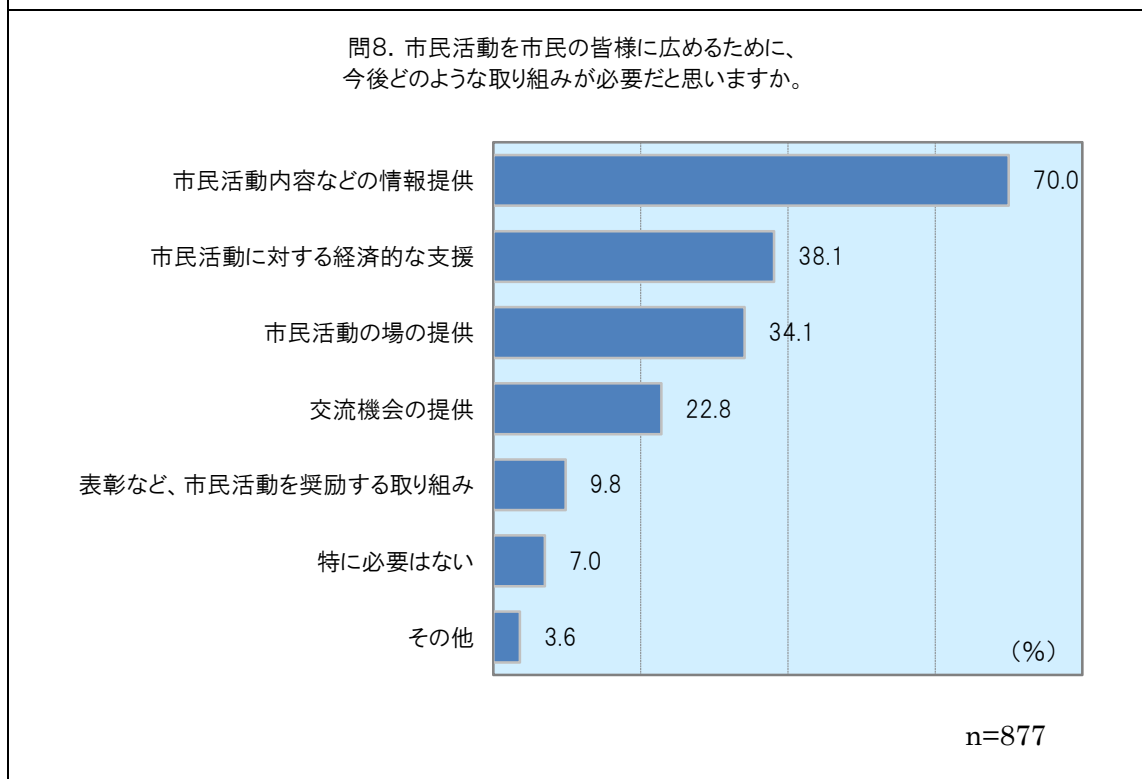


問7. 問6で1・2・3を選択した回答者のみ
(単回答) 市民活動に対する市の取り組みに満足していますか。

問7. 市民活動に対する市の取り組みに満足していますか。



問8. (複数回答) 市民活動を市民の皆様に広めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

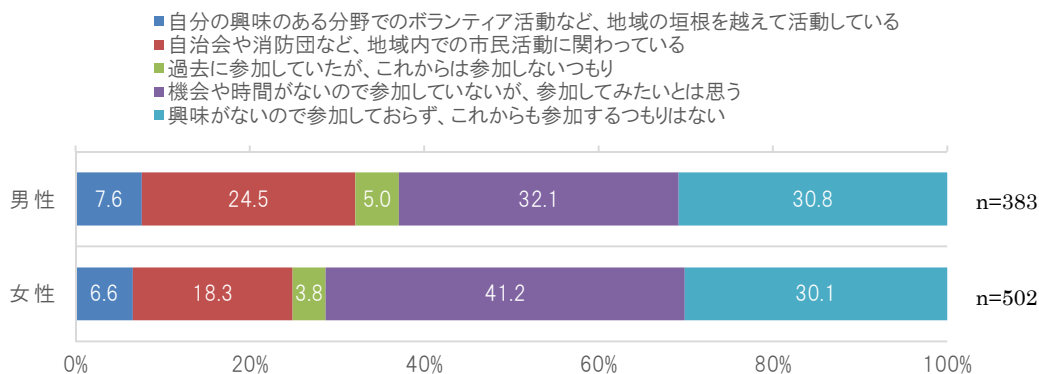


- 市民活動の参加状況としては、「自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している」、「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」の回答割合より、地域内外における何らかの市民活動に参加しているのは、回答者全体の 27.4%となっている。
- 「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」と回答した割合は、全体の 37.6%と最も高い割合となっている。
- 地域内外における何らかの市民活動に参加している市民のうち、市民活動に対する市の取り組みに「満足している」「やや満足している」のは 23.6%、「やや不満である」「不満である」のは 17.9%となっている。
- 今後、市民活動を広めるために必要な取り組みとしては、「市民活動内容などの情報提供」が最も多く、回答者全体の 70.0%を占めている。次いで多い順に「市民活動に関する経済的な支援」 38.1%、「市民活動の場の提供」 34.1%等が挙げられている。

<性別の動向>

問6. 現在、木更津市は、「市民活動（ボランティアやNPO活動など）」を推進しています。
あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

× 問13. あなたの性別に、○をつけてください。

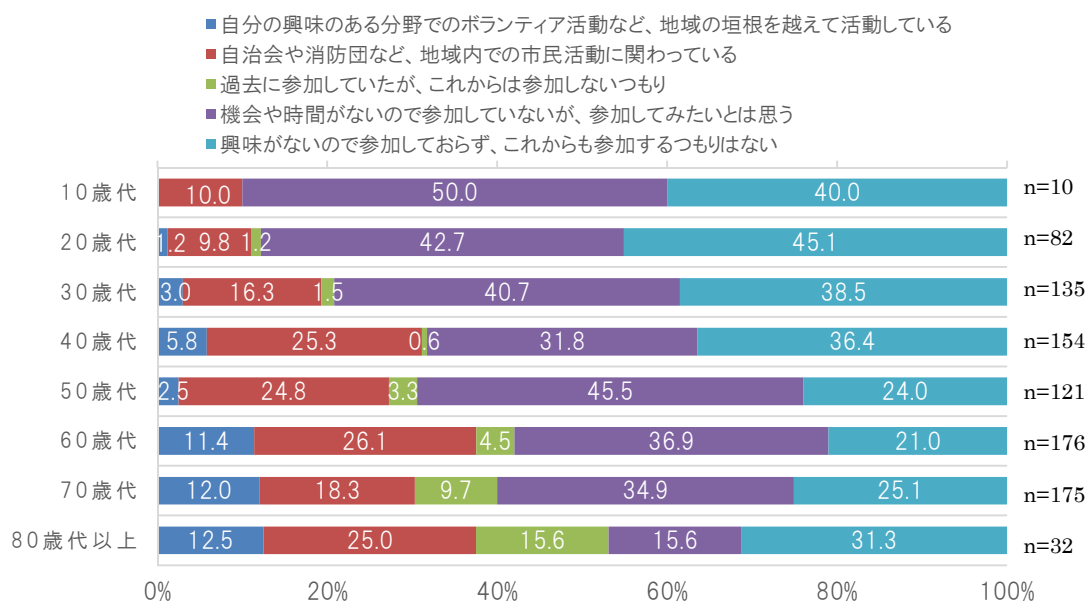


- ・ 「自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している」、「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」と回答した割合の合計は、男性が女性を7.2ポイント上回っている。
- ・ 「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」と回答した割合は、女性が男性を9.1ポイント上回っている。

<年齢別の動向>

問6. 現在、木更津市は、「市民活動（ボランティアやNPO活動など）」を推進しています。
あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

× 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。



- ・ 「自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している」、「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」と回答した割合の合計は、60歳代と80歳以上で最も高くなっている。
- ・ 「興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない」と回答した割合は、20歳代で最も高くなっている。次いで多い順に10歳代、30歳代と続き、若年世代におけるボランティア参加意欲の低さがうかがわれる。

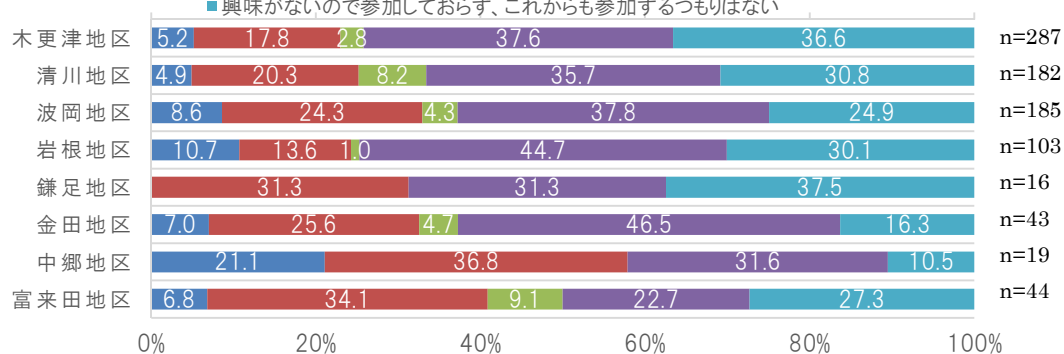
<居住地区別の動向>

問6. 現在、木更津市は、「市民活動（ボランティアやNPO活動など）」を推進しています。

あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

× 問17. あなたのお住まいの地区は、次のどれに該当しますか。

- 自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している
- 自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている
- 過去に参加していたが、これからは参加しないつもり
- 機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う
- 興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない



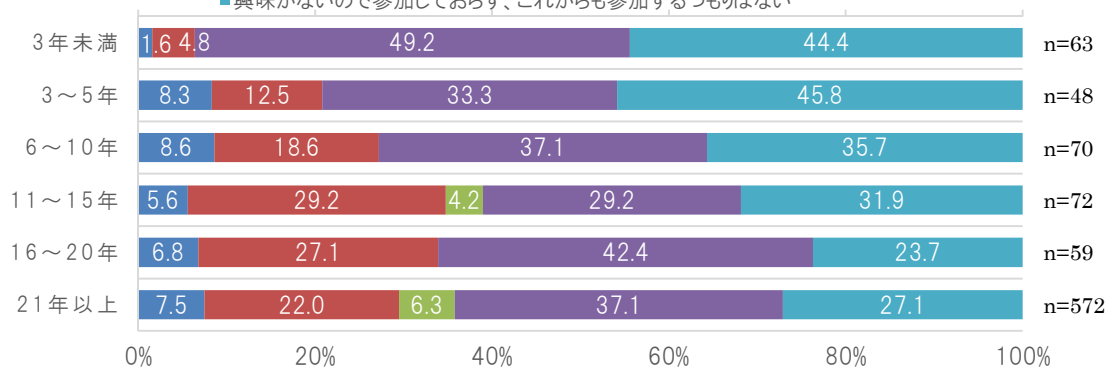
- ・ 「自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している」、「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」と回答した割合の合計は、中郷地区で最も高くなっている。

＜居住期間別の動向＞

問6. 現在、木更津市は、「市民活動（ボランティアやNPO活動など）」を推進しています。
あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

× 問18. あなたが木更津市に住んでいる期間は、次のどれに該当しますか。

- 自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している
- 自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている
- 過去に参加していたが、これからは参加しないつもり
- 機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う
- 興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない



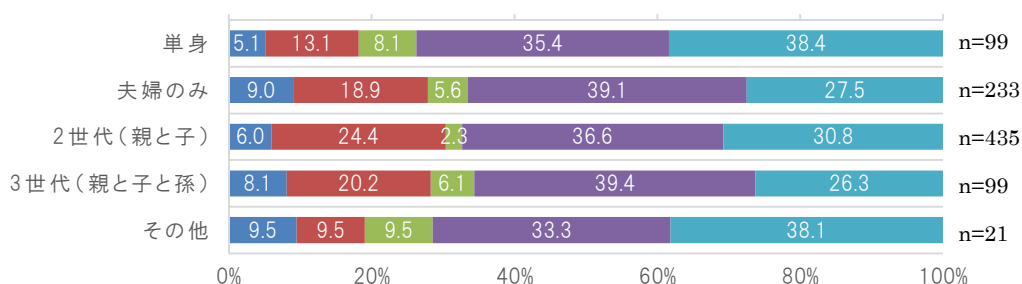
- ・ 「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」と回答した割合は、居住期間が11～15年の市民で最も高くなっており、居住期間が10年を超える辺りから、地域内でのボランティア活動に参加する機会は増加していると考えられる。

＜家族構成別の動向＞

問6. 現在、木更津市は、「市民活動（ボランティアやNPO活動など）」を推進しています。
あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。

× 問20. あなたの家族構成は、次のどれに該当しますか。

- 自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している
- 自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている
- 過去に参加していたが、これからは参加しないつもり
- 機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う
- 興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない



- ・ 「自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している」、「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」と回答した割合の合計は、2世代（親と子）世帯で最も高くなっている。
- ・ 「興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない」と回答した割合は、単身世帯で最も高くなっている。

II. 行政サービスに関する満足度、今後の優先度」について

問9. (単回答) あなたは、木更津市の行政サービスに対して、どのくらい満足していますか。また、今後どのくらい優先的に取り組んでほしいと思いますか。
以下の1～46の各項目について、「現在の満足度」と「今後の優先度」を選んで下さい。

1. 分析方法

本設問では、木更津市の施策46項目の取組を対象に、「現状で市民がどのくらい満足しているか」という「現在の満足度」と、「今後どのくらい優先的に取り組んでほしいと思っていくか」という「今後の優先度」を明らかにしています。

具体的には、「現在の満足度」および「今後の優先度」について、5段階で把握するとともに、その結果を相対的に表すため、「満足・高い：2点」、「やや満足・やや高い：1点」、「普通：0点」、「やや不満・やや低い：-1点」、「不満・低い：-2点」として加重平均値*を算出し、市民の視点から見た施策間の順位を明らかにしています。

※「加重平均値」とは、満足度・優先度等の指標の評価水準を相対的に表すために、指標の評価段階に応じた重みを設定し、その重みを考慮した平均値を算出することを表します。本調査では5段階の評価に各々2点、1点、0点、-1点、-2点という重みを設定し、例えば5段階各々に回答した人数が、w₁、w₂、w₃、w₄、w₅であった場合、加重平均値は以下の式で表されます。なお、この場合加重平均値は-2から2の値をとり、各施策に対する市民の満足度・優先度は2に近づくほど高くなることを表しています。

(加重平均値)

$$= \frac{2点 \times w_1 + 1点 \times w_2 + 0点 \times w_3 + (-1点) \times w_4 + (-2点)w_5}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5}$$

2. 対象施策

番号	施策
1	<p>保健の充実</p> <p>市民の健康を保つため、がん検診などの受診率向上や生活習慣の改善指導、予防接種の実施、歯科保健の推進を行っています。</p>
2	<p>医療の充実</p> <p>市民が適切な医療を受けられるよう、休日・夜間の救急医療体制の充実や保健・医療従事者の人材不足解消を図るとともに、地域医療の中核を担う君津中央病院の高度医療化を支援しています。</p>
3	<p>地域福祉の推進</p> <p>地域住民に対する福祉活動や、生活困窮者に対する生活保護の実施をはじめ、公共交通機関のバリアフリー化の促進などにより、住みやすい地域社会づくりを行っています。</p>
4	<p>高齢者支援の充実</p> <p>高齢者が自立した日常を営めるよう、就業機会の提供や介護予防の推進、地域におけるより良い介護サービスの提供体制づくりを行っています。</p>
5	<p>障がい者支援の充実</p> <p>障がいのある方が自立した日常生活を営めるよう、障がい者への理解促進や相談支援、社会参加の促進を行うとともに、適切な福祉サービスが受けられるよう支援しています。</p>
6	<p>防災対策の推進</p> <p>市民を災害から守るため、計画的な備蓄や防災訓練の実施、防災・災害情報の伝達体制の確立、自主防災組織への支援等を通じ、地域防災力の向上を図っています。災害発生時には被害の拡大防止や復旧に取り組めます。</p>
7	<p>消防・救急救助体制の充実</p> <p>火災や大規模災害の発生に備え、消防の対応力強化や高度情報化を図り、市民に対する火災予防や救命講習の普及啓発に取り組んでいます。</p>
8	<p>防犯体制の充実</p> <p>犯罪を未然に防ぐため、市民による自主防犯活動の支援をはじめ、市職員による防犯パトロールの実施、防犯カメラなどの防犯設備の整備を実施しています。</p>
9	<p>交通安全対策の充実</p> <p>交通事故を防ぐため、歩道の新設や交差点改良などの安全な交通環境の整備を行うとともに、歩行者や運転者向けの啓発活動に取り組んでいます。</p>

10	<p>消費者支援の充実</p> <p>消費者トラブルを未然に防ぐため、消費生活出前講座などの消費生活に関する学習・啓発機会の提供や、消費者団体の育成支援を行っています。</p>
11	<p>子育て支援の充実</p> <p>子育て世代が安心して子どもを生み育てることができるよう、待機児童の解消など保育サービスの拡充、放課後児童クラブの運営支援、ひとり親家庭の支援や虐待の防止、母子保健の充実や幼稚園教育の振興に取り組んでいます。</p>
12	<p>学校教育の充実</p> <p>児童生徒の「生きる力」を育むため、市立学校における教育活動の展開、教育環境の整備や地産地消による学校給食の推進、地域に開かれた学校づくりを行っています。</p>
13	<p>青少年の健全育成</p> <p>青少年の健全育成をめざし、青少年相談員や各種青少年地域団体との連携支援、野外体験促進事業や、少年自然の家キャンプ場の利用促進などを行っています。</p>
14	<p>社会教育の充実</p> <p>生涯学習社会の実現のため、市内高等教育機関と連携した公開講座の開催や生涯学習バスの運行など多様な学習機会の提供および、図書館や公民館サービスの充実に取り組んでいます。</p>
15	<p>スポーツ・レクリエーションの振興</p> <p>市民が気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりをめざし、体育施設の維持管理、江川総合運動場の拡張整備をするとともに、「ちばアクアラインマラソン」などのスポーツイベントの開催に取り組んでいます。</p>
16	<p>市民文化の充実</p> <p>市民による芸術文化活動の活性化を図るため、芸術に触れる機会の提供をはじめ、「木更津市史」の編さんなど、地域の文化継承を促進しています。</p>
17	<p>人権擁護の推進</p> <p>差別のない社会をめざすため、人権尊重に関する相談や、民事の法律相談のほか、人権教育研修会などの啓発活動を行っています。</p>
18	<p>男女共同参画の推進</p> <p>男女がともに能力を発揮しやすい社会の実現のため、女性の参画やワーク・ライフ・バランスの推進に関する広報・啓発活動を行っています。</p>
19	<p>企業誘致の推進</p> <p>全市的な経済活動の活性化を図るため、バイオ関連・空港関連産業等の企業誘致に取り組むとともに、物流施設の誘致や、かずさアカデミアパークを活かした新産業の創出支援を行っています。</p>

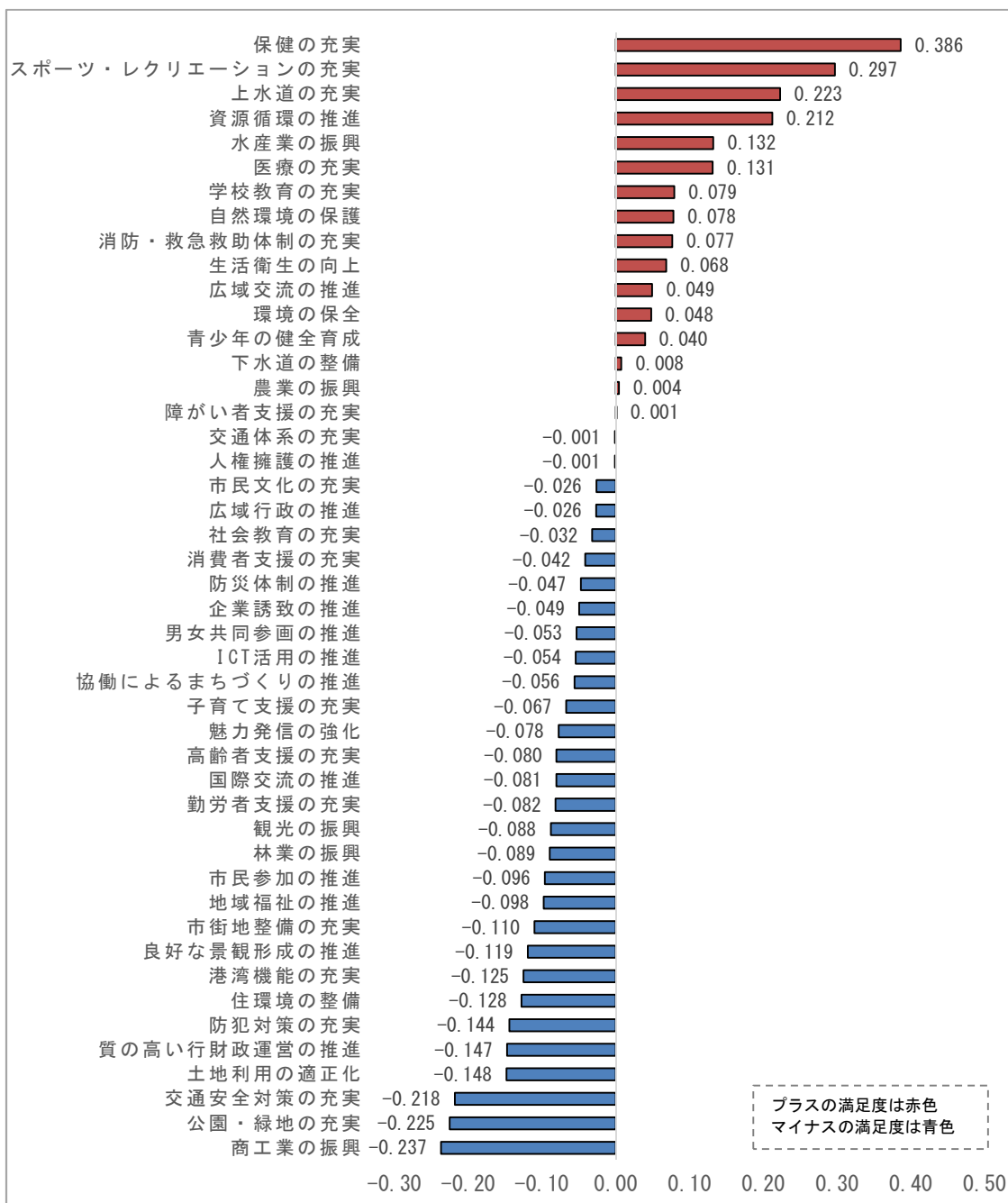
20	<p>農業の振興</p> <p>市内農業の持続的な発展をめざすため、農業施設の整備や担い手の育成、有害鳥獣対策などのほか、農産物のPRや地産地消の推進に取り組んでいます。</p>
21	<p>林業の振興</p> <p>森林資源を守り、有効に活用できる環境づくりをめざし、林道施設の整備や、地域材の利用促進などによる林業経営の強化などに取り組んでいます。</p>
22	<p>水産業の振興</p> <p>水産業の活力再生をめざし、漁港施設の機能保全や漁場環境の改善、木更津産水産物のPRをはじめ、潮干狩りなどの観光漁業の推進に取り組んでいます。</p>
23	<p>商工業の振興</p> <p>地域経済の健全な発展をめざし、中小企業の活性化と新たな創業支援をはじめ、商店街の魅力づくり、ものづくり人材の育成や農商工連携の推進、卸売市場の維持管理などを行っています。</p>
24	<p>勤労者支援の充実</p> <p>雇用の創出・拡大や、多様かつ柔軟な労働環境の実現のため、中小企業の従業員や職業訓練機関の支援のほか、ハローワークなどを通じた市民の就職・再就職支援を行っています。</p>
25	<p>観光の振興</p> <p>豊かな自然環境や歴史、江戸前文化などを活かし、魅力ある観光を展開するため、観光資源の開発や知名度向上支援をはじめ、外国人観光客や国際会議の誘致に取り組んでいます。</p>
26	<p>広域交流の推進</p> <p>周辺地域や東京湾岸都市などとの交流・連携による地域の賑わいの創出をめざし、東京湾アクアラインの活用やみなとまち木更津としてのまちなみ形成、新たな拠点整備に取り組んでいます。</p>
27	<p>国際交流の推進</p> <p>市民と在住外国人がともに暮らしやすいまちづくりをめざし、国際交流イベントの開催や姉妹都市交流の推進、語学ボランティアの登録制度づくりを行っています。</p>
28	<p>土地利用の適正化</p> <p>社会経済情勢の変化に適切に対応するため、都市計画制度を活用した適正な土地利用の規制・誘導に取り組むとともに、長期未整備の都市計画道路の見直しに取り組んでいます。</p>

29	<p>市街地整備の充実</p> <p>市民生活の快適性向上や、定住人口・交流人口の増加をめざし、市街地整備の推進や、マンション建設に対する助成、防犯・交通安全対策を行っています。</p>
30	<p>公園・緑地の充実</p> <p>快適でうるおいのある空間づくりをめざし、住宅立地の進展に合わせた都市公園の整備を進めるとともに、公園施設の更新工事などを実施しています。</p>
31	<p>住環境の整備</p> <p>住宅とその周辺の居住環境について、快適性や安全性の向上を図るため、市民相談のほか、耐震化の促進や違反建築等の事前防止活動、市営住宅の管理・整備などを行っています。</p>
32	<p>良好な景観形成の推進</p> <p>木更津市らしい良好な景観形成による個性や文化の創出をめざし、景観計画や景観条例の策定や市民・事業者への理解促進に取り組んでいます。</p>
33	<p>交通体系の充実</p> <p>日常生活における移動性や市域内外からのアクセス性の向上をめざし、各種道路網の整備や道路施設の維持管理、生活路線バスの維持・確保、高速バスのネットワーク化などに取り組んでいます。</p>
34	<p>港湾機能の充実</p> <p>海辺のにぎわい空間づくりや物流機能の強化を目的として、「木更津港港湾計画」の早期実現を県とともに推進し、内港におけるにぎわいづくり計画策定に取り組んでいます。</p>
35	<p>上水道の充実</p> <p>安全・安心な水道水を安定供給できるよう、水道施設の維持管理や更新を行うとともに、君津地域における4市水道事業と君津広域水道企業団との統合広域化を目指しています。</p>
36	<p>下水道等の整備</p> <p>水質汚濁や浸水被害を防ぎ快適な生活環境を確保するため、下水道施設や排水路の整備および適正な維持・管理に努めています。</p>
37	<p>資源循環の推進</p> <p>ごみの排出抑制と再資源化の推進のため、合理的・効率的な収集運搬と分別処理を行い、市民のリサイクル意識の向上に努めています。</p>
38	<p>生活衛生の向上</p> <p>市民の公衆衛生の向上をめざし、感染症の予防・拡大防止対策をはじめ、火葬場や霊園、し尿施設の適正管理に取り組んでいます。</p>

39	<p>自然環境の保護</p> <p>次世代に良好な自然環境を引き継ぐため、小櫃川河口干潟の保全に取り組んでいます。</p>
40	<p>環境の保全</p> <p>快適で住みよい環境の実現をめざし、大気環境や水質調査、環境負荷発生源の監視・指導を行うとともに、住民や各種団体等の環境美化活動を支援しています。</p>
41	<p>市民参加の推進</p> <p>政策形成やまちづくりへの市民参画の拡大をめざし、市民に向けた情報発信や、意見公募などを実施しています。</p>
42	<p>魅力発信力の強化</p> <p>観光・企業誘致・定住促進において求心力を高めるため、木更津市の有する地域資源や優位性について、市内外に向けた情報発信に取り組んでいます。</p>
43	<p>協働によるまちづくりの推進</p> <p>地域の課題解決に向けた「市民力」「地域力」向上のため、自治会活動や市民活動を支援しています。</p>
44	<p>質の高い行財政運営の推進</p> <p>持続可能な行財政運営をめざすため、基本計画等の進行管理をはじめ、計画的な財政運営や業務改善、人材育成などに取り組んでいます。</p>
45	<p>広域行政の推進</p> <p>今後の人口減少社会における市民サービスの維持や効率化を目的として、君津地域4市の広域的な連携をめざし、事務事業の共同処理などを推進しています。</p>
46	<p>I C T活用の推進</p> <p>I C T活用による行政サービスの高度化・効率化をめざし、システムの構築・改修などの環境整備を行っています。</p>

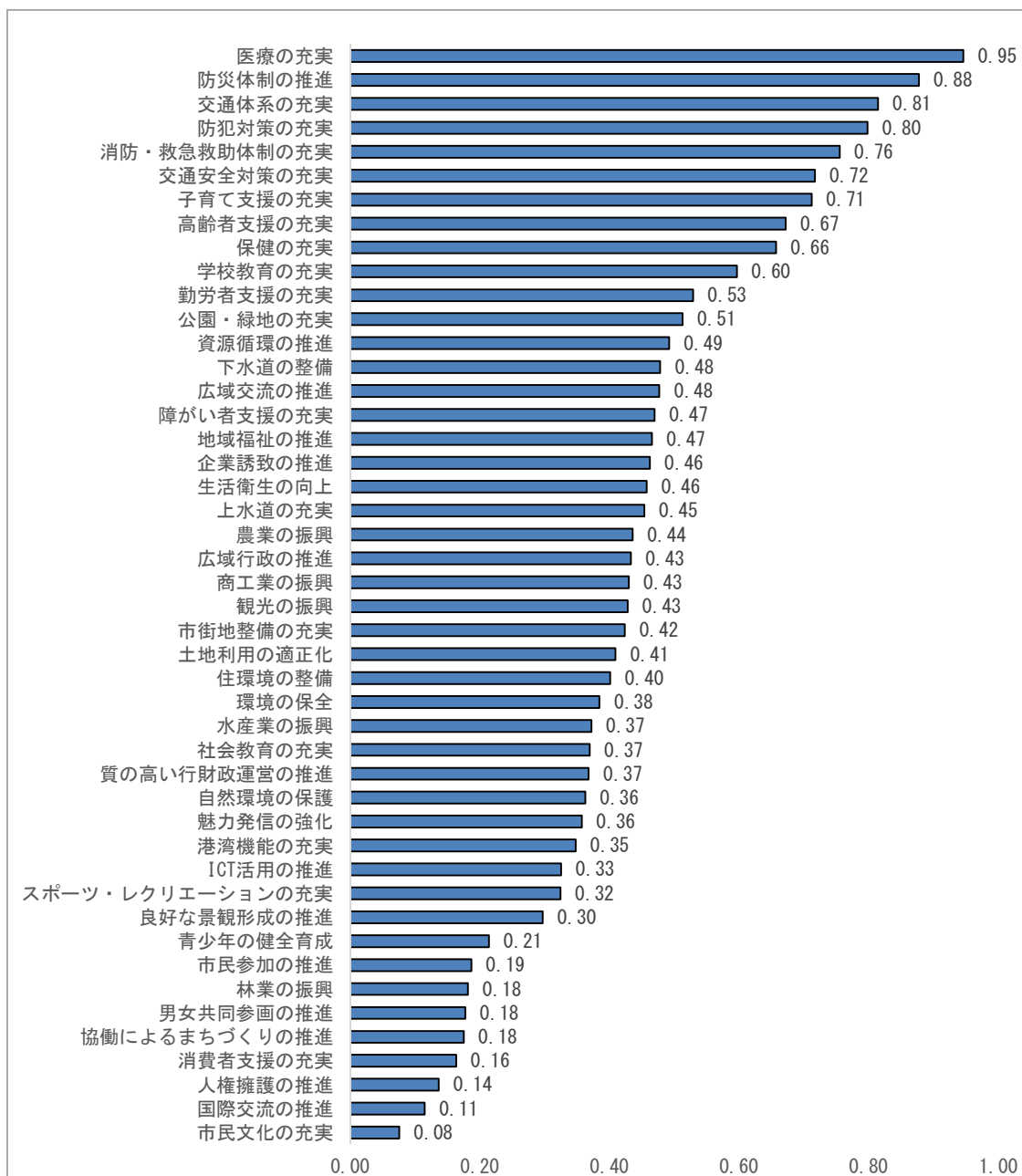
3. 調査結果

【現在の満足度に関する加重平均値一覧（降順）】



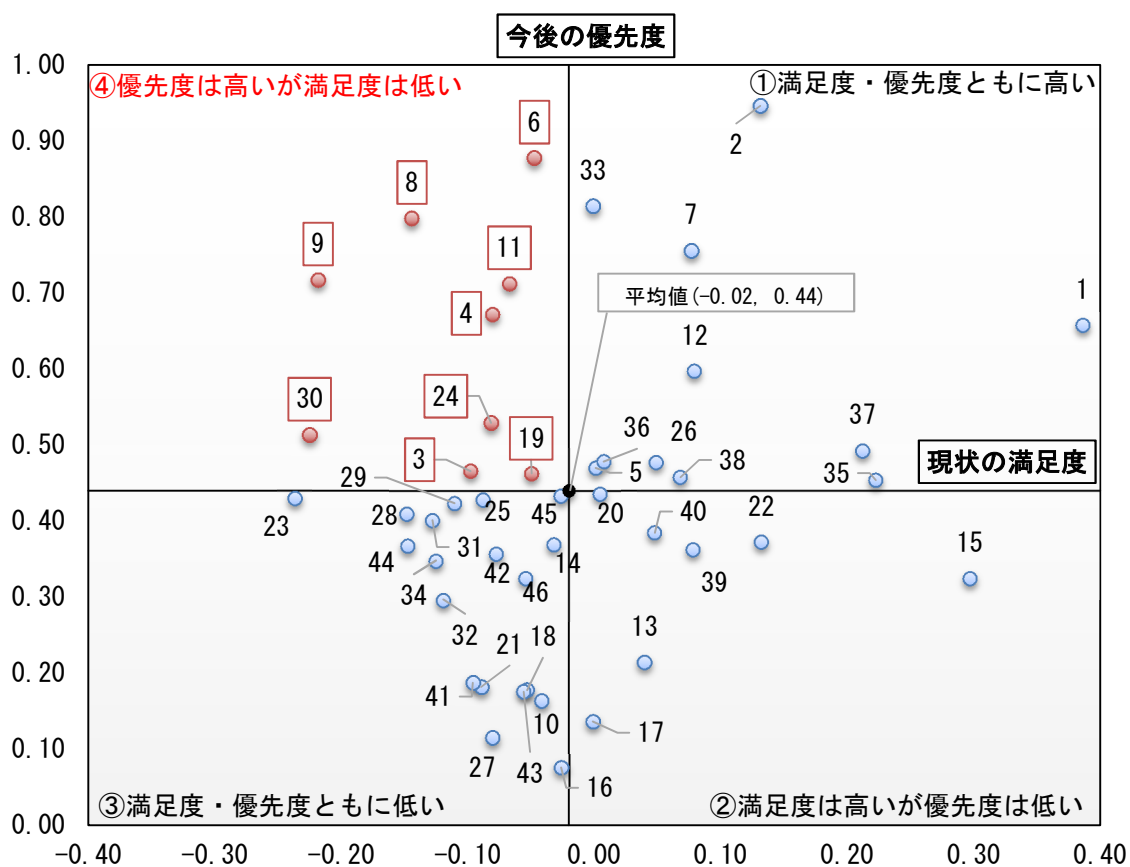
- ・ 木更津市の46施策中、「保健の充実」が最も市民満足度の高い施策として挙げられた。また、「スポーツ・レクリエーションの充実」、「上水道の充実」、「資源循環の推進」を含めた上位4施策の満足度が特に高い傾向にある。
- ・ 満足度の低い施策が多数を占める結果において、「商工業の振興」が最も満足度の低い施策となった。また、「公園・緑地の充実」、「交通安全対策の充実」を含めた下位3施策に対する市民満足度が特に低い傾向にある。

【今後の優先度に関する加重平均値一覧（降順）】



- ・ 木更津市の 46 施策中、今後の優先度が高い施策としては「医療の充実」が挙げられ、次いで「防災体制の推進」、「交通体系の充実」、「防犯対策の充実」、「消防・緊急救助体制の充実」等が続く。基本方向 01「安心・安全でいきいきとした暮らしづくり」への優先度が他の方向に比べ、相対的に高いことがうかがえる。
- ・ 一方で、「市民文化の充実」や「国際交流の推進」、「人権擁護の推進」等は優先度が低くなっており、基本方向 03「まちを支える人づくり」への優先度が他の方向に比べ、相対的に低いことがうかがえる。

【現在の満足度・今後の優先度に関する加重平均値】



- ・ 46 施策全体における現在の満足度・今後の優先度の平均値はそれぞれ-0.02、0.44 となっている。
- ・ 現在の満足度・今後の優先度の加重平均値について、全体の平均値を基準として4象限に分類した（施策名付きの結果は次頁一覧表を参照）。中でも特に、「④優先度は高いが満足度は低い」に分類された施策項目（地域福祉の推進、高齢者支援の充実、防災対策の推進、防犯体制の充実、交通安全対策の充実、子育て支援の充実、企業誘致の推進、勤労者支援の充実、公園・緑地の充実）については、今後、市民満足度向上の観点から、優先的に対策を講じる必要があると考えられる。

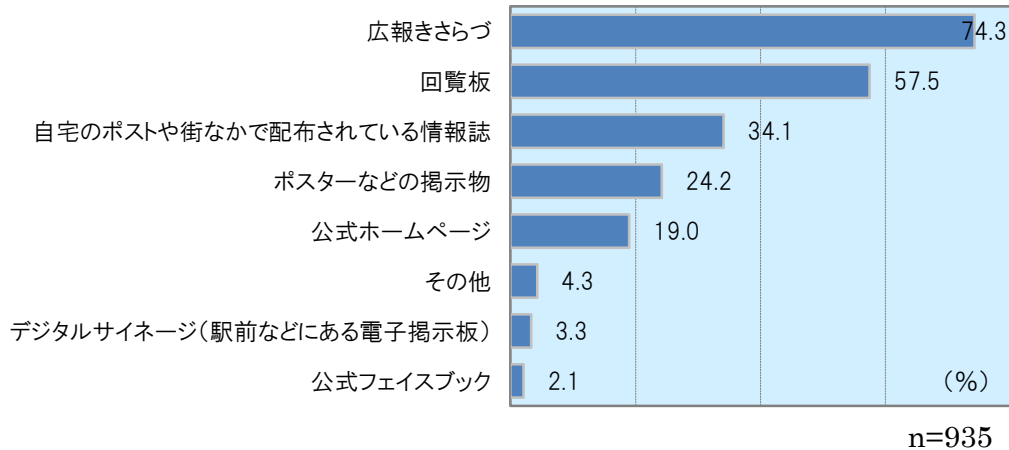
【現在の満足度・今後の優先度に関する施策分類】

①満足度・優先度ともに高い	保健の充実、医療の充実、障がい者支援の充実、消防・救急救助体制の充実、学校教育の充実、広域交流の推進、交通体系の充実、上水道の充実、下水道等の整備、資源循環の推進、生活衛生の向上
②満足度は高いが優先度は低い	青少年の健全育成、スポーツ・レクリエーションの振興、人権擁護の推進、農業の振興、水産業の振興、自然環境の保護、環境の保全
③満足度・優先度ともに低い	消費者支援の充実、社会教育の充実、市民文化の充実、男女共同参画の推進、林業の振興、商工業の振興、観光の振興、国際交流の推進、土地利用の適正化、市街地整備の充実、住環境の整備、良好な景観形成の推進、港湾機能の充実、市民参加の推進、魅力発信力の強化、協働によるまちづくりの推進、質の高い行財政運営の推進、広域行政の推進、ICT活用の推進
④優先度は高いが満足度は低い	地域福祉の推進、高齢者支援の充実、防災対策の推進、防犯体制の充実、交通安全対策の充実、子育て支援の充実、企業誘致の推進、勤労者支援の充実、公園・緑地の充実

III. 「木更津市の情報」について

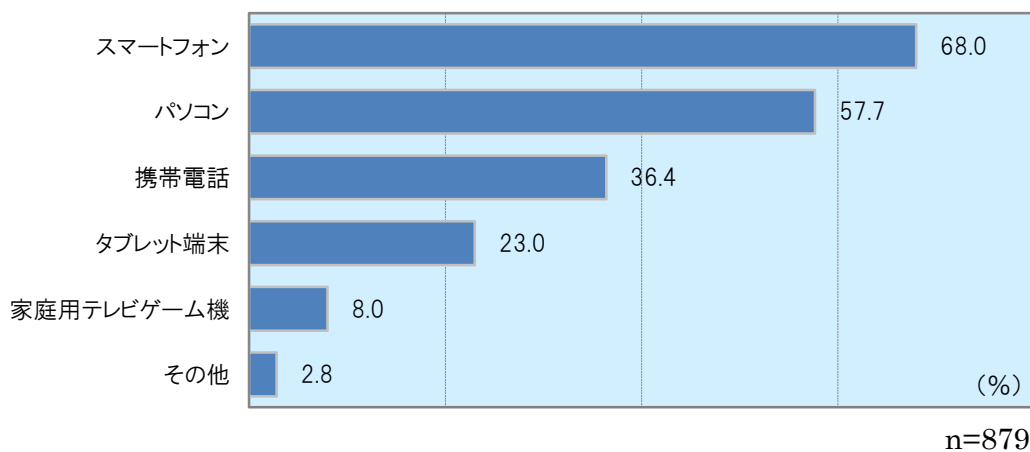
問10. (複数回答) あなたは普段、木更津市に関する情報をどのような方法で得ていますか。

問10. あなたは普段、木更津市に関する情報をどのような方法で得ていますか。



問11. (複数回答) 現在、あなたがお持ちの、インターネットに接続可能な機器はどれですか。

問11. 現在あなたがお持ちの、インターネットに接続可能な機器はどれですか。

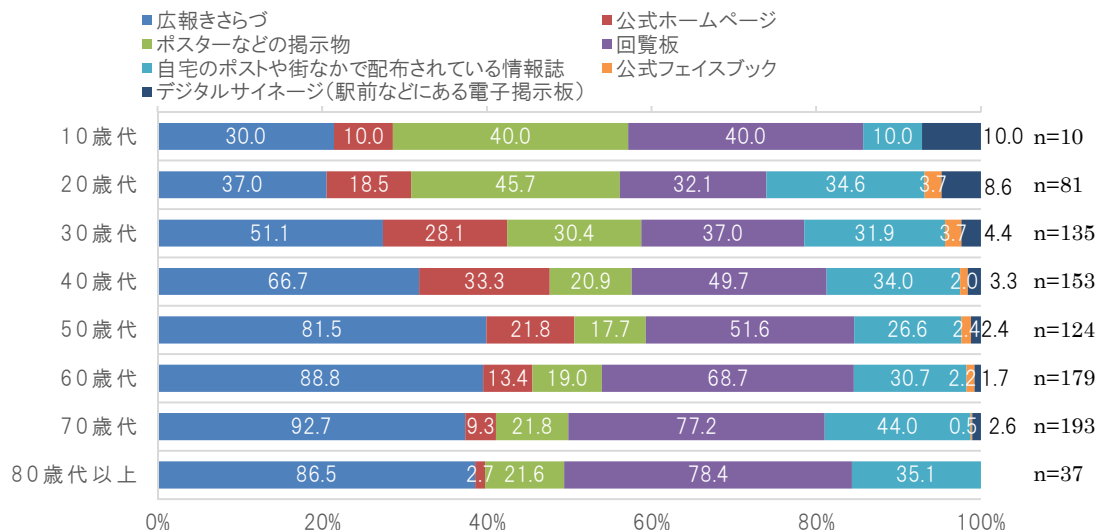


- ・ 木更津市に関する情報収集手段としては、広報きさらづや回覧板、情報誌・掲示物等のアナログ方式の媒体が多く挙げられ、公式ホームページや電子掲示板、公式フェイスブック等のデジタル方式の媒体を挙げる回答は少なくなっている。
- ・ 市民の所有するインターネットに接続可能な機器に関する回答は、スマートフォンが最も多く、次いで多い順にパソコン、携帯電話、タブレット端末、家庭用テレビゲーム機となっている。

<年齢別の動向>

問10. あなたは普段、木更津市に関する情報をどのような方法で得ていますか。

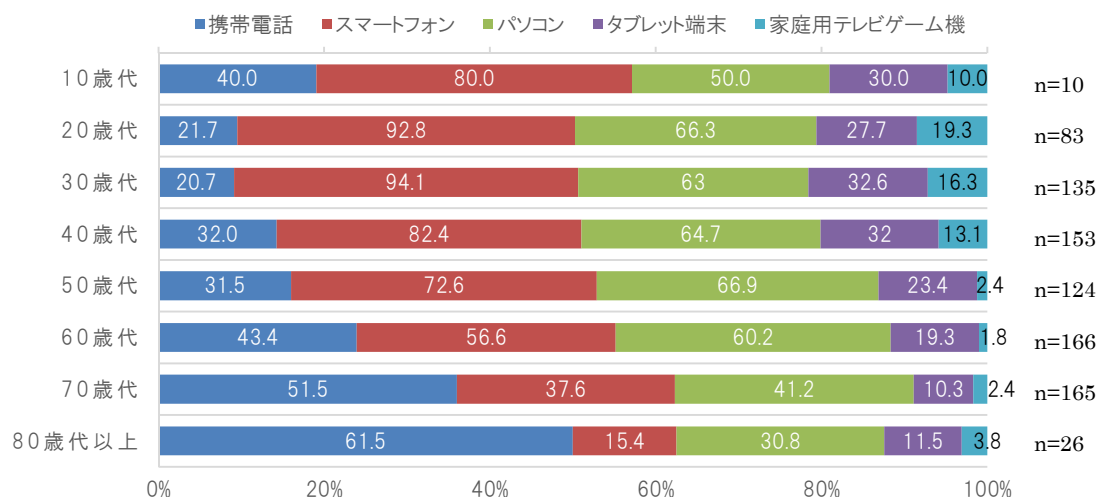
× 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。



- 50歳代から80歳代以上の回答者の8～9割が、「広報きさらづ」を挙げている。10歳代から20歳代における同割合は3～4割以内にとどまっている。
- 「公式ホームページ」は、30～50歳で比較的多く挙げられている。
- 「ポスターなどの掲示物」は若年層ほど回答が多い一方で、「回覧板」は、高齢者層ほど回答が多くなっており、年齢によって市に関する情報収集手段は多少異なるとうかがわれる。

問11. 現在あなたがお持ちの、インターネットに接続可能な機器はどれですか。

× 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。



- 若年層と高齢者層では、スマートフォンの所持率に大差が生じていることから、市オリジナルアプリの開発・普及に当たっては、高齢者に対する何らかの配慮が必要であると考えられる。

3 結果概要・考察

I. 「木更津市へのイメージ」に関する調査結果より

【今後のシティプロモーションのあり方について】

- ・ 「愛着や誇りを感じている」または「少しは愛着や誇りを感じている」と回答した市民の割合は、全体の 75.1%を占めており、市民の木更津市に対する愛着度の高さがうかがわれる。
- ・ 愛着度と同様、今後の居留意向についても、「ずっと住み続けたい」または「できれば住み続けたい」と回答した市民の割合は、全体の 75.4%と高い状況にある。
- ・ 市の魅力としては、愛着の有無や居住期間の有無にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」、「東京、神奈川方面への高速バス」に魅力を感じている市民が多く存在する。「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）」については、愛着や誇りを感じていない市民が魅力を感じにくい傾向にあるとうかがわれる。
- ・ 今後、新規転入者の増加に向けた取組みとしては、既存市民の愛着度の高さや、その愛着度に起因する市の魅力を中心に、市外部に向けた積極的な発信を行っていくことが重要であると考えられる。

II. 「木更津市の取り組み」に関する調査結果より

【今後の市政（オーガニックなまちづくり）のあり方について】

- ・ 「オーガニックなまちづくり」について「はじめて聞いた」市民の割合は、回答者全体の 54.8%、「聞いたことはあるが、よく分からない」と回答した市民の割合は 38.2%となっており、「理解している」、「理解し、共感している」と回答した市民は、回答者全体の 6.5%に止まっている。
- ・ 20 歳代を中心とした若年～中年世代では「はじめて聞いた」市民の占める割合が、60 歳代以上の高齢世代では「聞いたことはあるがよくわからない」市民の占める割合が、それぞれ最も高くなっており、年齢別の施策認知動向に差が生じていることがうかがわれる。
- ・ 今後、「オーガニックなまちづくり」の推進にあたり、まずは市民の施策認知度を高めることが重要であり、年代別のアプローチが有効であると考えられる。

【今後の市政（市民活動支援）のあり方について】

- ・ 市民活動の参加状況としては、地域内外における何らかの市民活動に参加しているのは、回答者全体の 27.4%となっている。
- ・ 「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」と回答した、市民活動への潜在参加者の割合は、全体の 37.6%存在し、特に女性の割合が高くなっている。今後、市民活動推進に当たっては、「潜在参加者」に対し、市民活動の機会や時

間を提供するための支援が有効であるとうかがわれる。

III. 「行政サービスに関する満足度、今後の優先度」に関する調査結果より

【今後の市政全体（46 施策）のあり方について】

- ・ 木更津市の 46 施策中、最も市民満足度の高い施策としては「保健の充実」が、最も優先度の高い施策としては「医療の充実」が挙げられた。
- ・ 「優先度が高いが満足度は低い」に分類された施策項目（地域福祉の推進、高齢者支援の充実、防災対策の推進、防犯体制の充実、交通安全対策の充実、子育て支援の充実、企業誘致の推進、勤労者支援の充実、公園・緑地の充実）については、今後、市民満足度向上の観点から、優先的に対策を講じる必要があると考えられる。

IV. 「木更津市の情報」に関する調査結果より

【今後の情報関連施策のあり方について】

- ・ 木更津市に関する情報収集手段としては、広報きさらづや回覧板、情報誌・掲示物等のアナログ方式の媒体が多く挙げられ、公式ホームページや電子掲示板、公式フェイスブック等のデジタル方式の媒体を挙げる回答は少なくなっている。
- ・ 若年層と高齢層では、スマートフォンの所持率に大差が生じていることから、市オリジナルアプリの開発・普及に当たっては、高齢者に対する何らかの配慮が必要であると考えられる。